

石油給湯機付ふろがま

無料修理保証書

品番	FDW-AG470FXPFFW、FDW-AG470FXPMW FDW-AG470FXPM、FDW-AG470FXPMP FDW-AG470AXPFFW、FDW-AG470AXPMW		
保証対象部分	保証期間	部品代	工料など
本体	1 年	無	料

- 本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
- お買い上げの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただくことができますので、ご了承ください。

★お買い上げ日		住所・店名	
★お客様	ご芳名	★販売店	
	ご住所 〒 ()		
	電話 ()		

★印欄に記入のない場合は、無効となりますから、必ず記入の有無をご確認ください。
【無料修理規定】をよくお読みください。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に依頼してください。
なお、難患および難患に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご事情により、本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理が依頼できない場合には、コロナお客様相談窓口一覧表をご覧の上、お近くの窓口にお問い合わせください。
5. 次の場合には、保証期間内でも保証の対象外となります。
(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ) お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下等による故障および損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧、異常水圧、異常水質（温泉水、地下水、井戸水等）、指定外の使用電源（電圧、周波数）および燃料、給水の供給事情による故障および損傷
(ニ) 指定外の燃料、不純燃料の使用による故障および損傷
(ホ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車載、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷
(ヘ) 水垢もしくは凍結による故障および損傷
(ト) 当社製品の純正部品を使用しなかった場合の故障および損傷
(チ) 当社または、当社指定の取扱販売店以外で点検、修理した場合の故障および損傷
(リ) 据付け工事の不備による故障および損傷
(ヌ) 本書の提示がない場合
(ル) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものでありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お近くのコロナお客様相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品（機軸を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後7年です。

製造元 株式会社 **コロナ**

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7
TEL (0256) 32-2111

タカスタンダード

石油給湯機付ふろがま

取扱説明書

お客様へ

本製品は消費生活用製品安全法（消安法）で指定される特定保守製品です。
法定点検を受けるために所有者登録を行ってください。
（製品に同梱した「所有者票」に記入し投函願います。）

エフディーダブル エイ ジー エフエックスビー エフエフダブル
FDW-AG470FXPFFW

エフディーダブル エイ ジー エフエックスビー エムダブル
FDW-AG470FXPMW

エフディーダブル エイ ジー エフエックスビー エム
FDW-AG470FXPM

エフディーダブル エイ ジー エフエックスビー エムビー
FDW-AG470FXPMP

エフディーダブル エイ ジー エフエックスビー エフエフダブル
FDW-AG470AXPFFW

エフディーダブル エイ ジー エフエックスビー エムダブル
FDW-AG470AXPMW

もくじ

1	特に注意していただきたいこと。 （安全のために必ずお守りください）	1 ~ 2
2	各部の名称	3 ~ 8
	■外観図	3
	■構造図	4 ~ 5
	■リモコン	5 ~ 8
3	使用前の準備	9
	■燃料	9
	■給油	9
	■運転開始前の準備と確認	9
4	使用方法	10 ~ 30
	■はじめてお使いになる場合	10
	■使用方法	11 ~ 27
	■凍結予防	28 ~ 30
	■使用上の注意	30
	■長期間使用しないとき	30
5	安全装置	31
6	その他の装置	31
7	点検・手入れ	31 ~ 33
	■日常の点検・手入れ	31 ~ 33
	■定期点検	33
8	故障・異常の見分け方と処置方法	34 ~ 36
9	部品交換のしかた	37
10	仕様	38
11	アフターサービス	39
12	据付け	40 ~ 44

- 本品は一般家庭の給湯以外の目的（例えば業務用の使用・給湯以外の使用・車両・船舶への搭載）に使用しないでください。
- 飲用または調理に用いないでください。



1 特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。


警告


注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合はガソリン禁止)が描かれています。



①記号は行為を指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告(WARNING)

ガソリン厳禁
 ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
 火災の原因になります。

給排気筒(管、ホース)外れ危険
 給排気筒(管、ホース)が外れたまま使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
 (該当機種 FDW-AG470FXPFWW, FDW-AG470AXPFWW)

給排気筒トップ閉そく危険
 給排気筒トップの周りが雪でふさがれたまま使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
 (該当機種 FDW-AG470FXPFWW, FDW-AG470AXPFWW)

給排気筒トップには金網などは付けません
 給排気筒トップには、虫よけのための金網などは付けしないでください。給排気の妨げになり、異常燃焼を起こし排ガスが室内に漏れる可能性があり危険です。
 (該当機種 FDW-AG470FXPFWW, FDW-AG470AXPFWW)

注意(CAUTION)

空だきに注意
 浴槽に水が入っていることを確認してください。火災のおそれがあります。

高温部接触禁止
 燃焼中や消火直後は、高温部、給排気筒トップ、吹出口、枠上部に手などふれないでください。やけどのおそれがあります。

可燃物禁止
 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。

囲い禁止
 機器や排気口(吹出口)を波板などで囲わないでください。不完全燃焼や火災のおそれがあります。
 (該当機種 FDW-AG470FXPMW, FDW-AG470XPM, FDW-AG470FXPMP, FDW-AG470AXPMW)

高温注意
 ●シャワーを使用する場合、手で湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。
 ●入浴するときは、手で湯温を確かめてください。やけどのおそれがあります。
 ●循環口のまわりは高温になるので注意してください。やけどのおそれがあります。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く
 長期間使用しないときは、電源プラグを抜くとともに凍結予防の処置をしてください。火災や予想しない事故の原因になります。

電源プラグのお手入れをする
 とくときは電源プラグを抜き、ほこり(及び金属物)を除去してください。(ほこりがたまりと湿気などで絶縁不良になり)火災の原因になります。

注意(CAUTION)

分解修理・改造の禁止
 故障、破損したら、使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。

異常・故障時使用禁止
 油漏れやにおい、すすの発生、炎の色など異常や故障と思われるときは使用しないでください。事故の原因になります。

電源コードを傷めない
 電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。また、電源コードを束ねないでください。電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。

結露に注意
 リモコンの運転スイッチを「切」の状態ですぐに水をかけないでください。機内に結露が発生し故障の原因になることがあります。

電源プラグは確実に差し込む
 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。(また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。)火災の原因になります。ぬれた手でのプラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。

アースについて
 専用のアース(線)を必ず取り付けてください。感電のおそれがあります。アース(線)は、ガス管や水道管、電話や避雷針のアース(線)には絶対に接続しないでください。

不良灯油(変質灯油、不純灯油)禁止
 変質灯油(ひと夏持ち越した灯油など)、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミが混入した灯油等)を使用しないでください。機器の故障の原因になります。

ゴム製送油管の屋外使用禁止
 ゴム製送油管は、屋外で使用しないでください。屋外での使用は禁止されています。

標高が1,500mを超える高地では使用しない
 空気の濃度が薄いため、燃焼に必要な空気が不足します。

子供の入浴に注意する
 浴槽循環口付近で、もぐらないでください。特に小さなお子様には注意してください。思わぬ事故の原因になります。

太陽熱温水器とは絶対に接続しない
 お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

お願い(NOTICE)

入浴剤・洗剤に注意
 硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器をいためますので、使用しないでください。

凍結に注意
 冬期は温かい地域でも給水・給湯配管、ふろ配管の水が凍結し、水漏れや故障の原因になります。凍結予防に必要な処置をしてください。

使用用途について
 給湯・シャワー・お風呂をわす以外の用途には使用しないでください。

サウナ、スチームサウナなどへの取付け禁止
 5~40℃の室温で使用してください。故障の原因になります。(インターホンリモコンのみ)

シャワーなどを直接かけないこと
 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。マイクの感度が落ちたり、スピーカの音が聞こえにくくなり、故障の原因になります。

スピーカに耳を近づけて使用しないこと
 大きな音が出ることがあり、聴覚障害などを引き起こす恐れがあります。

循環口について
 浴槽の循環口(フィルタ)を必ず取り付けてください。また、タオル等でふさがれないでください。お風呂の沸き上げができません。また、機器の故障の原因になります。

温泉水、井戸水、地下水を使用しない
 水質によっては、機器の配管内部に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。この場合は保証期間内でも有料となります。

リモコンの分解禁止
 リモコンは絶対に分解しないでください。事故や故障の原因になります。

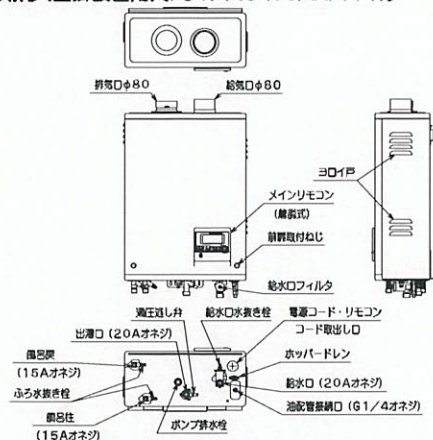
マイク穴やスピーカ穴に直接触れないこと
 マイク穴やスピーカ穴は非常に小さい穴ですので、故意に触れるとゴミやホコリ等がつまりマイクの感度が落ちたり、スピーカの音が聞こえにくくなり、故障の原因になります。

リモコンのお手入れ
 リモコンのお手入れには、ベンジンや油系系の洗剤を使わないでください。変色や変形することがあります。

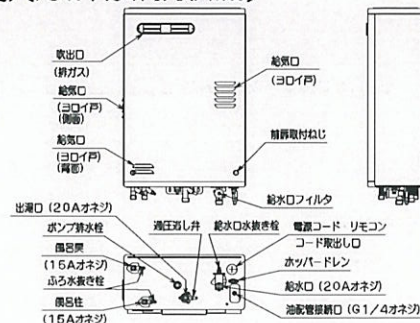
2 各部の名称

外観図

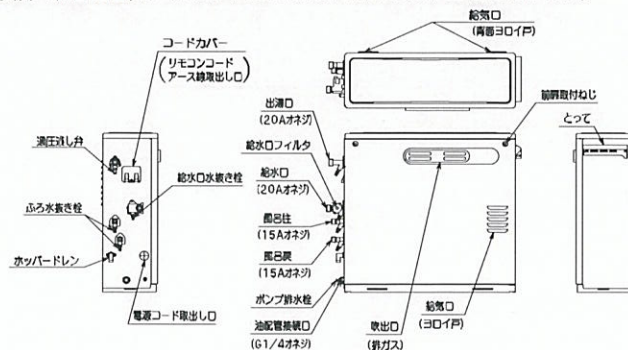
- 屋内用密閉式強制給排気形(壁掛設置用) (FDW-AG470FXPFFW)
- 屋内用密閉式強制給排気形(壁掛設置用) (FDW-AG470AXPFFW)



- 屋外用開放形(壁掛設置用) (FDW-AG470FXPMW)
- 屋外用開放形(壁掛設置用) (FDW-AG470AXPMW)

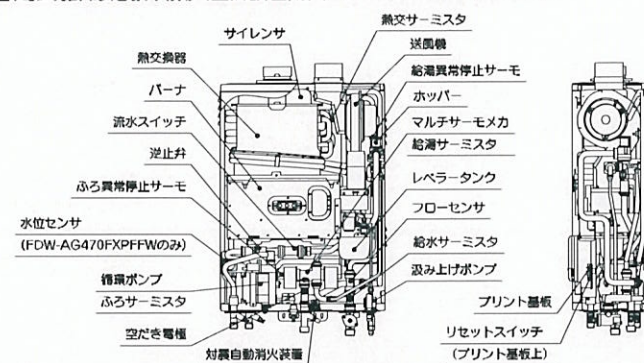


- 屋外用開放形(据置設置用) (FDW-AG470FXPM, FDW-AG470FXPMP)

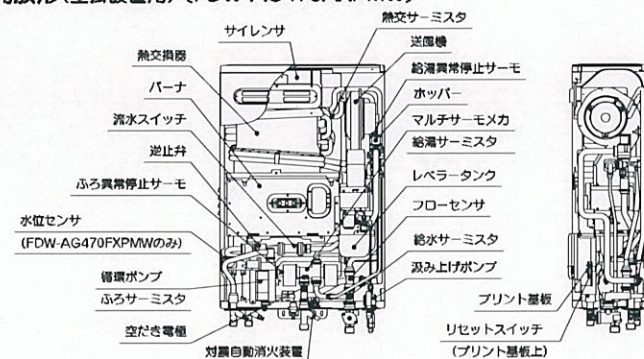


構造図

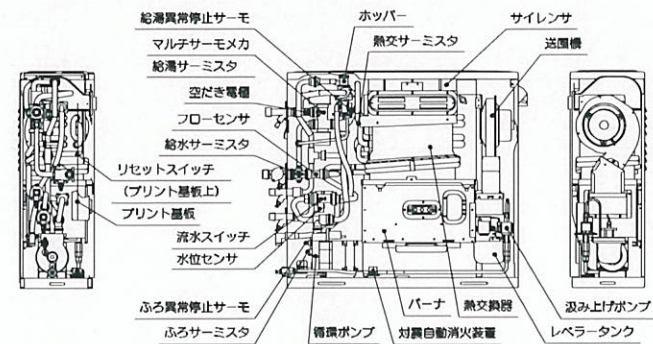
- 屋内用密閉式強制給排気形(壁掛設置用) (FDW-AG470FXPFFW)
- 屋内用密閉式強制給排気形(壁掛設置用) (FDW-AG470AXPFFW)



- 屋外用開放形(壁掛設置用) (FDW-AG470FXPMW)
- 屋外用開放形(壁掛設置用) (FDW-AG470AXPMW)

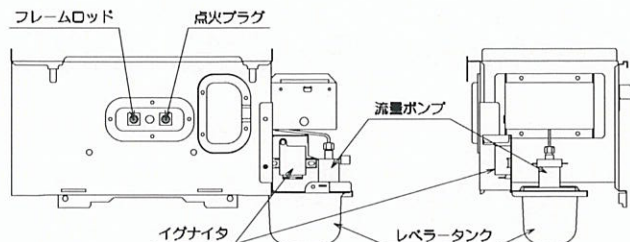


- 屋外用開放形(据置設置用) (FDW-AG470FXPM, FDW-AG470FXPMP)



構造図

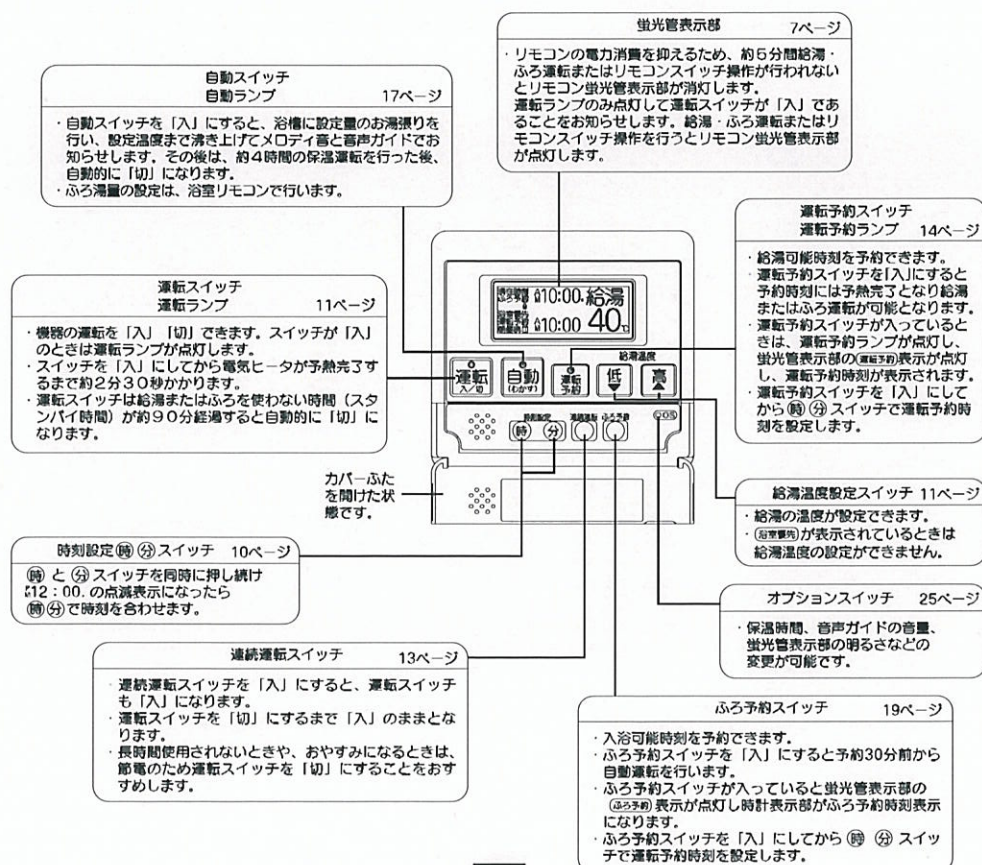
バーナ



リモコン

●インターホンリモコンの場合は、「運転予約」スイッチの位置が異なります。また、「通話」スイッチが追加となりますので、8ページの「リモコン（インターホンリモコン）」の項をお読みください。

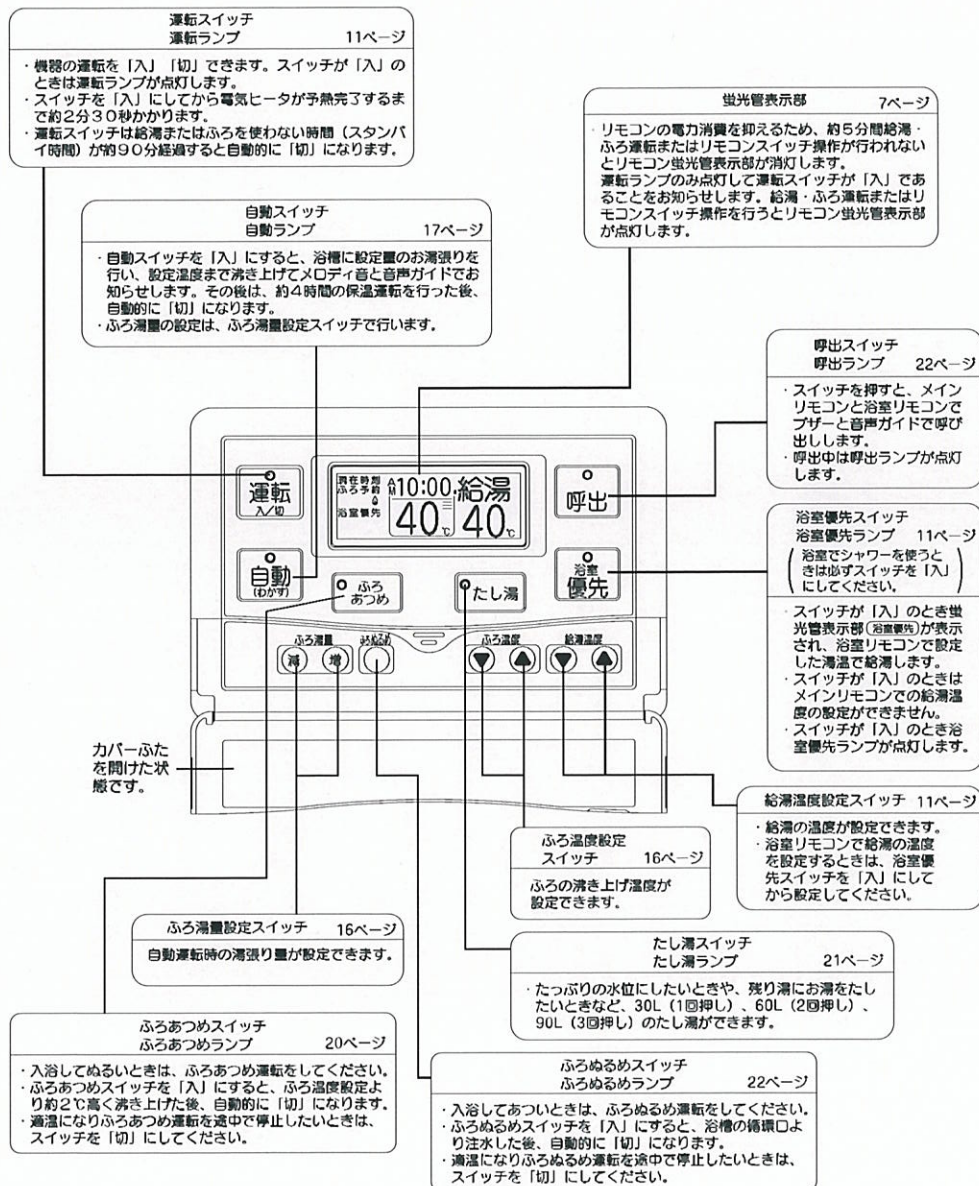
メインリモコン



リモコン

●インターホンリモコンの場合は、「呼出」スイッチが「通話」スイッチとなりますので、8ページの「リモコン（インターホンリモコン）」の項をお読みください。

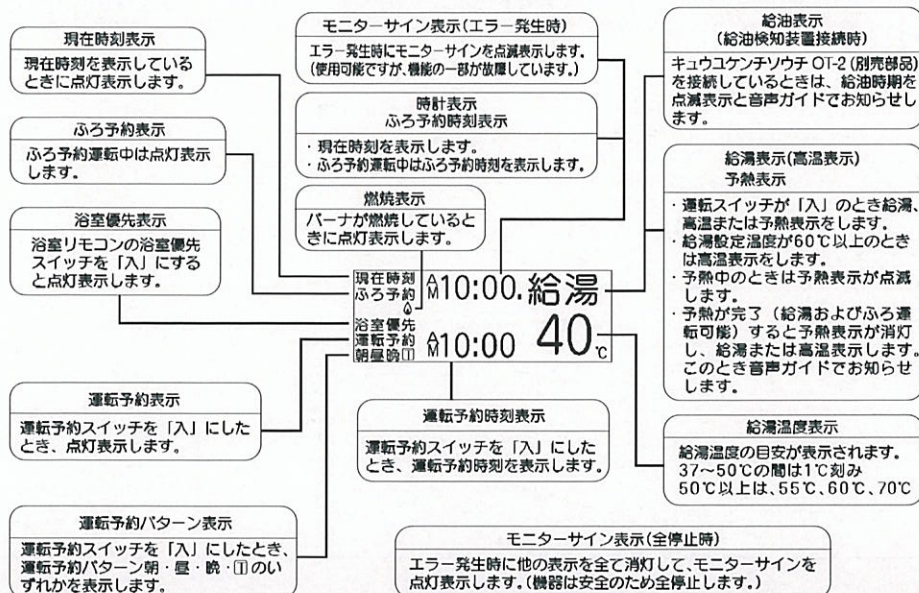
浴室リモコン



リモコン

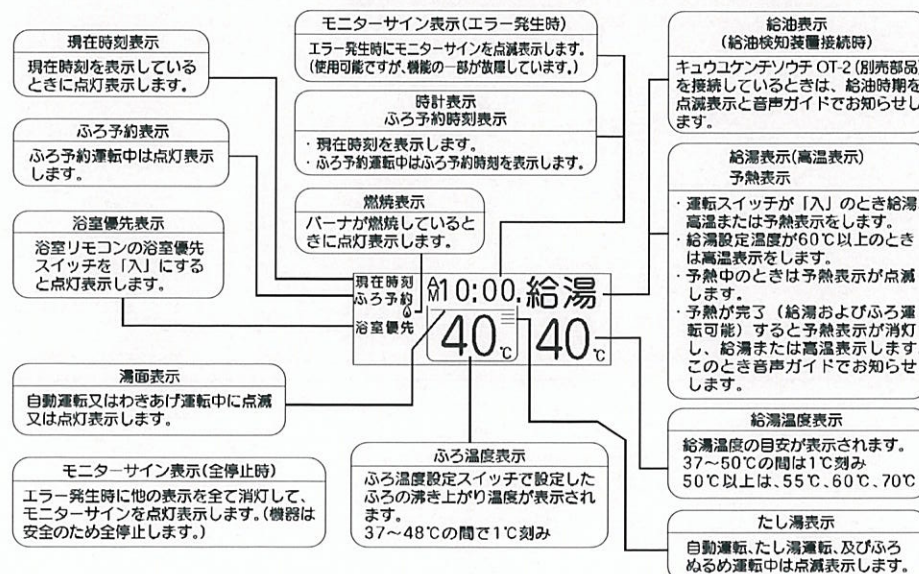
メインリモコン蛍光管表示部

リモコンの電力消費を抑えるため、約5分間給湯・ふろ運転またはリモコンスイッチ操作が行われないとリモコン蛍光管表示部が消灯します。
(給湯温度を60℃以上に設定したときは、リモコン蛍光管表示部は消灯しません。)



浴室リモコン蛍光管表示部

リモコンの電力消費を抑えるため、約5分間給湯・ふろ運転またはリモコンスイッチ操作が行われないとリモコン蛍光管表示部が消灯します。
(給湯温度を60℃以上に設定したときは、リモコン蛍光管表示部は消灯しません。)

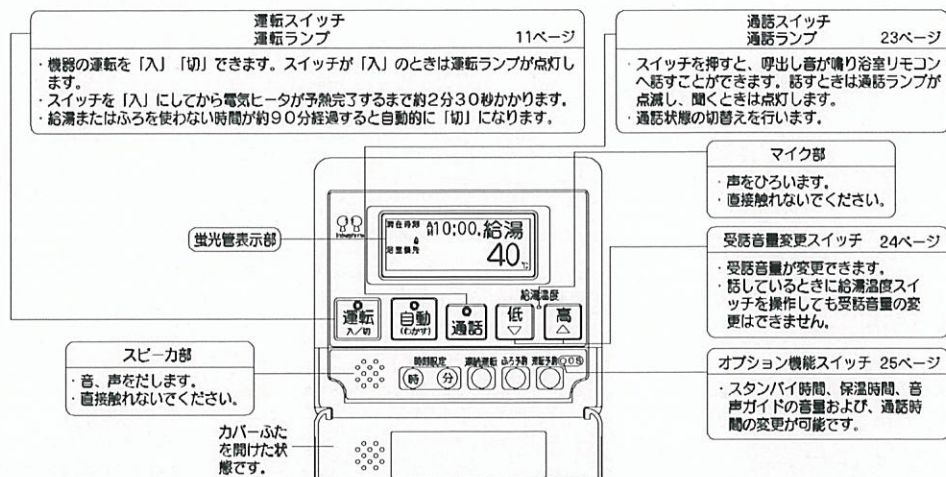


リモコン(インターホンリモコン)

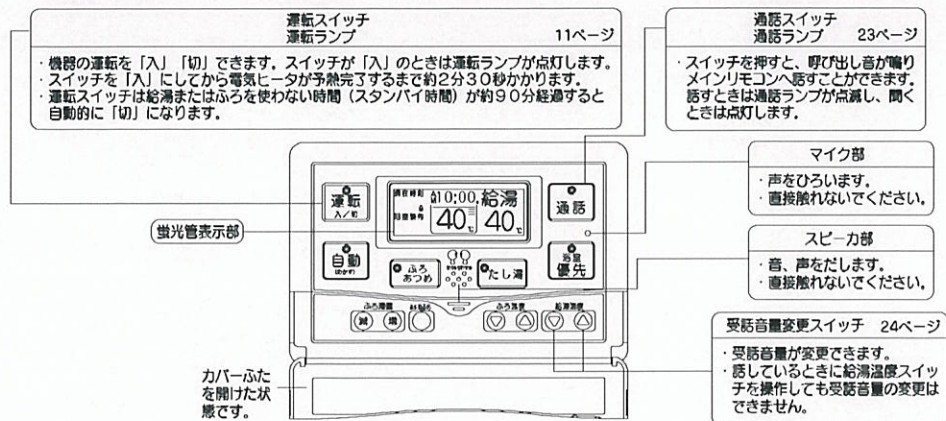
■各部の名称

●インターホン機能に関するスイッチ以外の各部の名称、機能については、5~7ページの「リモコン」の項をお読みください。

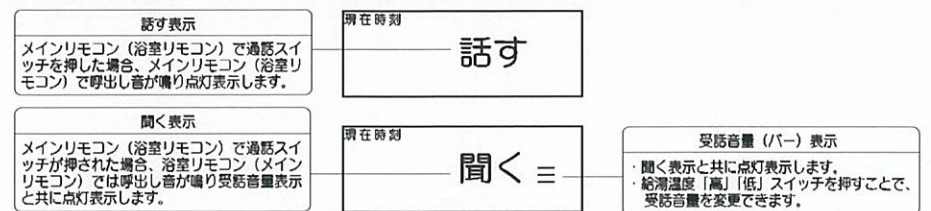
メインリモコン



浴室リモコン



蛍光管表示部 (インターホン機能に関する表示はメインリモコン、浴室リモコン共通)



3 使用前の準備

燃 料

- **△警告** ガソリンなどの揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。
- 燃料は、灯油(JIS 1 号灯油)を必ず使用してください。
- 変質灯油、不純灯油は絶対に使用しないでください。機器の故障の原因になります。

給 油

■給油の際の注意

- 給油の際に、水、ゴミなどを入れないよう特に注意してください。水、ゴミなどは燃焼不良や、バーナの寿命低下などの原因になります。



■給油口ふたは、確実に締めてください。

■こぼれた灯油はよくふきとってください。

■燃料切れの注意と空気抜きの方法

- 油タンクを空にしないように注意してください。
- 油タンクが空になり給油したときは空気抜きが必要となります。

■空気抜きの方法

- 油タンクの送油バルブを開き、オイルフィルタの空気抜きねじをゆるめて送油経路内の空気を抜きます。
- 空気抜きねじ部から灯油があふれてきたら、空気抜きねじを元通り締め付けてください。

運転開始前の準備と確認

■給水および水漏れの確認

- 給湯栓から水を出してみて、熱交換器内に水の入っていることを確認してください。
- 浴槽の排水栓は、水漏れのないよう、しっかり閉めてください。
- 浴槽の水位を確認してから運転してください。浴槽の水位が循環口から10cm以上うえになるまで給湯（または給水）してください。（ふろ運転の場合）

■送油経路の油漏れの確認

●注意

- 油タンクや送油管の接合部・給油コックなどから油漏れがないかどうか確認してください。

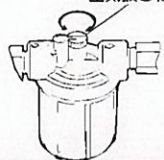
■電気配線の確認

- **△注意** 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。火災の原因になります。
- 電源は必ず適正配線された単相100Vのコンセントを使用してください。
- 電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用、他の電気器具とのタコ足配線はしないでください。

- 油切れになると給油しても、送油経路内の空気のためにエラーの「給油」表示が点灯することがあります。このときは、運転スイッチを入れ直してください。

「給油」表示の解除は運転スイッチからは3回まで可能です。さらに「給油」表示の解除が必要な場合は、機器本体のプリント基板上にあるリセットスイッチを軽く押すか、または電源プラグを電源コンセントから抜き、約5秒後差し込んでください。

空気抜きねじ



- 灯油があふれたらきれいにふきとってください。
- 空気抜きねじ部のOリングをなくしたり、きずをつけたりすると油漏れとなり、使用できなくなりますので注意して取り扱ってください。特に、空気抜きねじを外しますとOリングがねじから外れ、紛失するおそれがありますので、空気抜きのときはゆるめるだけで、外さないでください。

■機器の周囲確認

- **△注意** 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。
- **△注意** 機器や排気口（吹出口）、給気口を波板などで囲わないでください。不完全燃焼や火災のおそれがあります。
(該当機種 FDW-AG470FXPMW, FDW-AG470FXPM, FDW-AG470FXPMP, FDW-AG470AXPMW)

■給排気筒の確認

(該当機種 FDW-AG470FXPFFW, FDW-AG470AXPFFW)

- **△警告** 給排気筒（管、ホース）が外れたまま使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- **△警告** 給排気筒トップの周りが雪でふさがれたまま使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

4 使用方法

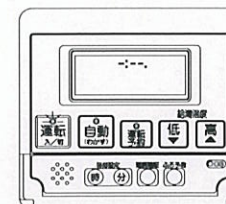
はじめてお使いになる場合

- インターホンリモコンの通話機能（通話スイッチ）については、8ページの「リモコン（インターホンリモコン）」の項と23ページの「使用方法（インターホンリモコン）」の項をご覧ください。
- 工場出荷時の初期設定は下記のとおりです。

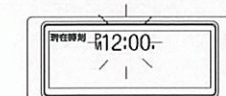
項 目	初 期 設 定	停電後の状態	設定方法参照ページ
現在時刻	— : — : —	設定変更をされた場合でも初期設定になります。	10 ページ
給湯温度調節	40℃		11 ページ
ふろ沸き上げ温度	40℃		16 ページ
ふろ予約	PM 6 : 00		19 ページ
運 転 予 約	朝	AM 6 : 00	14 ページ
	昼	— : — : —	
	晩	PM 6 : 00	
	夜	— : — : —	
ふろ湯量の設定	200L	設定変更をしない場合初期設定になります。 設定変更をされた場合設定された状態のままです。	16 ページ

■ 現在時刻合わせ

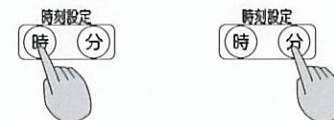
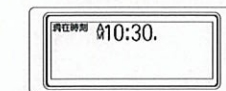
現在時刻合わせはメインリモコンで行います。
設置後や長時間の停電後は運転ランプが点滅し、時計表示がバー表示になっています。



- ① 時と分を同時に約5秒間押し続けます。（発信音「ピッ」）
● 時計表示部が 現在時刻 12 : 00. の点滅表示になります。
● **音声ガイド** 「時と分を合わせてください」



- ② 時を②で合わせます。（発信音「ピッ」）
- ③ 分を④で合わせます。（発信音「ピッ」）



点滅したまま約5秒放置しておくで点灯表示になり現在時刻合わせが完了します。（発信音「ピッ」）

お願い 時計表示がバー表示にならない短い停電でも、現在時刻が遅れますので時刻設定しなおしてください。

使用方法（給湯）

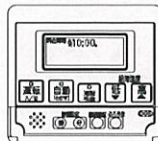
- この給湯機は灯油をガス化するのに電気ヒータを用いています。運転スイッチを「入」にしてから約2分30秒間のヒータ予熱時間を経て、給湯およびふろ運転可能となります。
(予熱中は燃焼しないため水は出ますが湯になりません。)
- すぐに給湯するために給湯やお風呂を使用する時間帯は、運転スイッチを「入」のままでお使いください。
- リモコンの電力消費を防ぐため、約5分間給湯・ふろ運転またはリモコンスイッチ操作が行われないとリモコン蛍光管表示部が消灯します。運転ランプのみ点灯して運転スイッチが「入」であることをお知らせします。給湯栓を開き給湯運転の開始・ふろ運転およびリモコンスイッチ操作を行うとリモコン蛍光管表示部が点灯します。
- 給湯温度を60℃以上に設定したときは、リモコンの蛍光管表示部は消灯しません。
- 運転スイッチは給湯またはふろを使わない時間が約90分経過すると自動的に「切」になります。

■給湯運転の方法／給湯温度調節の方法

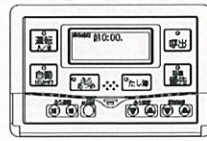
給湯運転はメインリモコン、浴室リモコンのどちらからでもできます。

(操作はメインリモコンで説明します。)

メインリモコン



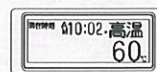
浴室リモコン



- ① **運転** を押して「入」にします。
●運転ランプが点灯します。(発音音「ビッ」)
●予熱を開始し、「予熱」表示が点滅します。
予熱が完了すると「予熱」表示が消灯し「給湯」または「高温」表示が点灯します。(発音音「ビッ」を3回繰り返します)
●音声ガイド「給湯できます」



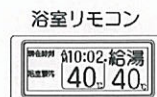
- ② **低** / **高** を押して好みの温度にします。(発音音「ビッ」)
●音声ガイド「給湯温度が変更されました」
●37～50℃ 1℃刻みで設定できます。
●50～70℃ 50℃、55℃、60℃、70℃の設定ができます。



- 温度設定が低い(49℃以下)とき、**高** を約3秒以上押し続けると50℃に変更されます。
また、設定温度が高い(41℃以上)とき、**低** を約3秒以上押し続けると40℃に変更されます。
- 60℃以上に設定したときは「高温」表示が3回点滅後点灯します。
- 音声ガイド「あついお湯がでます」

浴室リモコンから給湯温度調節するとき

- 浴室リモコンの **入** を「入」にします。
- メインリモコンと浴室リモコンに「浴室優先」が表示されます。(発音音「ビッ」)
- 音声ガイド「浴室優先に変更されました」
- 給湯温度設定スイッチ (♥ / ▲) を押して好みの温度にします。(発音音「ビッ」)

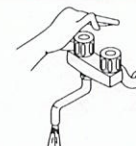


メインリモコンと浴室リモコンの関係について

- 「浴室優先」が表示されていないとき
メインリモコンで設定された湯温で給湯します。
浴室リモコンでは、給湯温度調節はできません。
浴室リモコンの **入** を「入」にしてから給湯温度調節をしてください。
- 「浴室優先」が表示されているとき
浴室リモコンで設定された湯温で給湯します。
メインリモコンでは給湯温度調節はできません。
浴室リモコンの **切** を「切」にしてから給湯温度調節をしてください。

使用方法（給湯）

- ③ 給湯栓を開くと自動的に点火します。
●燃焼を開始し、**炎** 表示が点灯します。



- 使いはじめは配管内の水が出ますので、お湯になるまでしばらく時間がかかります。

- ④ 給湯栓を閉じると自動的に消火します。
●燃焼が停止し、**炎** 表示が消灯します。



- リモコンで表示する温度と給湯する湯温は、配管長さや外気温等により必ずしも一致しません。目安としてお使いください。
- 自動運転またはたし湯運転のお湯張り中は、浴室リモコンで設定されたふろ温度で給湯します。給湯温度を高温に設定しているときは、お湯張りが終了すると高温のお湯が出ますのでやけどにご注意ください。
- 凍結予防(通水による方法)以外、長時間リモコン運転スイッチを「切」の状態では通水しないでください。機内に結露水が発生し故障の原因になることがあります。

より静かにお使いいただくために

- 給湯量に応じて変化する能力比例燃焼を行いますので中～低能力ではいっそう静音で快適に使用できます。深夜など騒音が気になる場合は給湯栓を少し絞りますと運転音を低減させることができます。

■シャワーの使い方

シャワーは次のいずれかの方法でお使いいただくことをおすすめします。

- サーモ付混合水栓のときは、リモコンの給湯温度設定をシャワー温度より10℃以上高く設定し、サーモ付混合水栓の温度設定を40℃前後のシャワー温度に合わせてご使用ください。
 - 右図のような2ハンドル混合水栓のときは、リモコンの給湯温度設定をシャワー温度より10℃以上高く設定し、混合水栓の給水栓を少し開いてから給湯栓を少しずつ開き、適温にしてお使いください。
シャワー使用後、再使用するときは、はじめ給湯栓を少し絞りにし、湯温が安定したらゆっくりと給湯量を増やしてください。
- ※給湯温度を50℃以上に設定することで、シャワー温度がより安定し快適なシャワーをご使用いただけますが、小さなお子様のいらっしゃるご家庭では、リモコンの給湯温度設定を44℃～46℃に設定し湯と水を混合してご使用ください。



ご注意

- △注意** シャワーを使用する場合、手で湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。
- シャワー使用中に、他のリモコンで温度設定を変えるとやけどのおそれがあります。そのため、シャワーを使用するときは必ず浴室リモコンの **入** を「入」にしてください。
- 他の給湯栓、給水栓が同時使用された場合は、一瞬熱い湯や、ぬるめのお湯が出たりすることがありますので必ず湯温を確認してから使用してください。
- シャワー使用直後の再使用や、湯量を急に絞ったときには一瞬熱いお湯や、ぬるめのお湯が出ることがありますのでご注意ください。

使用方法（給湯）

■給湯量と給湯温度の早見表

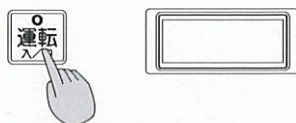
給湯温度 水温	給湯量（L/分、計算値）		
	5℃（冬）	15℃（春・秋）	25℃（夏）
40℃	19	(27)	(44)
50℃	15	19	(27)
60℃	12	15	19

- （ ）内数値は湯水を混合した場合の給湯量の計算値です。
- 配管や給湯栓により給湯量は異なりますので目安としてください。
- 給湯中ふろ運転をしたときは、上表の数値より少なくなります。
- 給湯温度は給湯機の出口温度ですので給湯栓からの温度とは必ずしも一致しません。目安としてください。

■運転停止

お湯を長時間使用しないときや、外出するときは  を押して運転を「切」にしてください。

- 運転ランプと時計表示が消灯します。（発信音「ビッ」）



■連続運転スイッチ

運転スイッチは給湯またはふろを使わない時間が約90分経過すると自動的に「切」になります。約90分以上継続して使用するときは、連続運転スイッチを「入」にしてください。

連続運転スイッチは自動的に「切」になりません。

お湯を長時間使用しないとき（おやすみするときなど）や、外出するときは、電力消費を抑えるためにも連続運転スイッチを「切」にすることをおすすめします。

-  を押して「入」にします。
 - 運転ランプが点灯し「連続」表示が点灯します。（発信音「ビッ」）
 - 予熱を開始し、「予熱」表示が点滅します。予熱が完了すると「予熱」表示が消灯し「給湯」または「高温」表示が点灯します。（発信音「ビッ」を3回繰り返します）
 - 音声ガイド「給湯できます」



-  を押してお好みの温度にします。（発信音「ビッ」）
 - 音声ガイド「給湯温度が変更されました」
 - 37～50℃ 1℃刻みで設定できます。
 - 50～70℃ 50℃、55℃、60℃、70℃の設定ができます。



- 給湯栓を開くと自動的に点火します。
 - 燃焼を開始し  表示が点灯します。



- 使いはじめは配管内の水が出ますので、お湯になるまでしばらく時間がかかります。

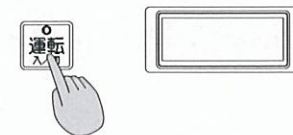
- 給湯栓を閉じると自動的に消火します。
 - 燃焼が停止し  表示が消灯します。



使用方法（給湯）

■連続運転スイッチの停止

-  を押して「切」にすると  も「切」になります。（発信音「ビッ」）
 - 全ての運転は停止します。
 - 運転ランプと時計表示が消灯します。
-  を押して「切」にすると連続運転は停止しますが、運転スイッチは「入」のままです。（発信音「ビッ」）
 - 連続運転スイッチを「切」にしてから運転スイッチは給湯またはふろを使わない時間が約90分経過すると自動的に「切」になります。



■運転予約運転の場合

運転予約をするとあらかじめ設定した運転予約時刻の5分前に、電気ヒータに通電し運転予約時刻には予熱が完了しているので待たずに給湯・ふろ運転ができます。

運転予約は1日（24時間）の中で「朝」「昼」「晩」「夜」の4つまで、予約時刻を設定できます。（工場出荷時は「朝」；AM6:00、「晩」；PM6:00 に設定されています。）

お願い 現在時刻を設定しないと運転予約はできません。現在時刻を設定してください。（10ページをお読みください。）

工場出荷時の設定で運転予約する場合

-  を押して「入」にします。
 - 運転予約ランプが点灯します。（発信音「ビッ」）
 - 「運転予約」表示が点灯します。
 - 運転予約スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なく受け付けます。
-  を続けて押すと「昼」→「晩」→「夜」と切り替わります。「朝」か「晩」に設定してください。
 - 運転予約スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なく受け付けます。
 - 運転予約スイッチは「切」にしないかぎり毎日「朝:6:00」と「晩:6:00」に運転スイッチが「入」になります。
 - 運転予約時刻の5分前に予熱を開始し、予熱が完了した時点で予約時刻にならなくても発信音、音声でお知らせします。（発信音「ビッ」を3回繰り返します）
 - 音声ガイド「給湯できます」
 - 運転予約スイッチを「切」にしないかぎり、タイマー表示が表示されていますが、給湯・ふろ運転はできます。



- 運転予約を「切」にするときは  を押して「切」表示にし、もう1回押すと「切」になります。
 - 運転予約ランプが消灯します。（発信音「ビッ」）



使用方法（給湯）

■運転予約時刻の変更方法

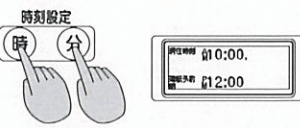
- ① を押して「入」にします。
- 運転予約ランプが点灯します。（発信音「ピッ」）
 - 「運転予約 朝」表示が点灯します。



- ② を押して「朝」「昼」「晩」「T」の予約したい時間帯を選びます。



- ③ で運転時刻を変更します。
- 運転予約時刻が変更されるとそのまま運転予約運転となります。
 - 設定時刻を「-:--」にすると運転予約は行いません。
 - を続けて押すことで「-:--」に合わせることができます。



ご注意

- ふろ予約スイッチが「入」になっていると運転予約時刻が変更できません。必ずふろ予約スイッチを「切」にして運転予約時刻を変更してください。
- 停電になると現在時刻は初期設定（工場出荷設定）になります。また、短い停電でも現在時刻が遅れますので、必ず現在時刻を設定しなおしてください。（10ページ参照）

- インターホンリモコンは運転予約スイッチの位置がイラストと異なります。8ページの「リモコン（インターホンリモコン）」の項をご覧ください。

使用方法（ふろ）

ふろ運転は ・ ・ ・ ができます。

ご注意

- 入浴中にふろ運転をすると、あつい湯が循環口から出ますのでやけどに注意してください。
- 循環口フィルタの取り付けが不完全ですと、ふろのお湯が十分に沸き上がらないことがありますので、フィルタは確実に取り付けてください。

- リモコンの運転スイッチを「入」にしてからでないとふろ運転はできません。
- おふろを使用する時間帯は、運転スイッチを「入」のままでお使いください。すぐにふろ運転ができます。
- 運転スイッチを「入」にし、自動・ふろあつめ・たし湯またはふろぬるめスイッチを「入」にすると、「予熱」表示が消灯し「給湯」または「高温」表示が点灯してからふろ運転を始めます。
- 浴槽が空のとき、浴槽の残り湯をそのまま沸かすとき、いずれの場合もふろ運転をする場合は、必ず自動スイッチを押してふろ運転を始めてください。

おふろの沸き上げ温度は浴室リモコンで設定します。

ふろ温度の設定方法

- ① を押して「入」にします。
- 運転ランプが点灯します。（発信音「ピッ」）



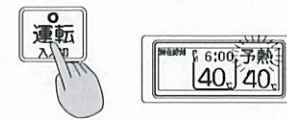
- ② ふろ温度設定スイッチ を押してふろの沸き上げ温度を設定します。（発信音「ピッ」）
- 音声ガイド「ふろ温度が変更されました」
 - 37～48℃の範囲で1℃刻みで設定できます。
 - 温度表示は設定温度であり、配管の長さや放熱等により浴槽内の湯温とは必ずしも一致しません。目安としてお使いください。



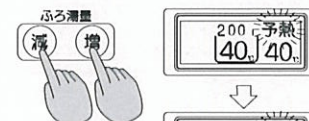
ふろ湯量の設定方法

お買い上げいただいたときは、ふろ湯量が200Lに設定されていますが、浴槽の大きさに合わせて量に変更できます。

- ① を押して「入」にします。
- 運転ランプが点灯します。（発信音「ピッ」）



- ② ふろ湯量設定スイッチ を続けて押し希望のふろ湯量に設定します。（発信音「ピッ」）
- ふろ湯量は100L～400Lの設定ができます。



- ③ ふろ湯量設定スイッチ を操作しない状態が約5秒間経過すると、ふろ湯量が確定します。（発信音「ピッ」）
- 音声ガイド「ふろ湯量が変更されました」



使用方法（ふろ）

おふろの沸かし方 — メインリモコン、浴室リモコンのどちらからでも自動運転ができます。—
（操作は浴室リモコンで説明します。）

■おふろを自動で沸かす

〈FDW-AG470FXPFFW, FDW-AG470FXPMW, FDW-AG470FXPM, FDW-AG470FXPMPの場合〉
・自動スイッチを押すだけで、おふろにお湯張り・追いだし・自動保温・自動たし湯まで全てを自動で行います。

〈FDW-AG470AXPFFW, FDW-AG470AXPMWの場合〉

・自動スイッチを押すだけで、おふろにお湯張り・追いだし・自動保温までを全て自動で行います。
（自動たし湯は行いません）

●浴槽が空のとき — 設定されたふろ湯量でお湯張りし、設定温度まで沸き上げ約4時間保温します。

- ① **運転** が「入」で「予熱」表示が消灯し「給湯」または「高温」表示が点灯していることを確認してください。



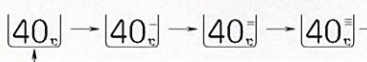
- ② **自動** を押して「入」にします。
●自動ランプが点灯します。（発信音「ピッ」）
●お湯張りします表示が3回点滅し、温度表示に戻ります。
●音声ガイド「お湯張りします」



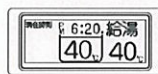
- ③ 湯面表示が点滅し、浴槽残湯の有無を確認します。



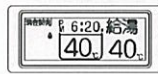
- ④ お湯張りを開始します。
●たし湯表示が点灯し、設定された湯量をお湯張りします。



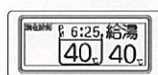
- ⑤ お湯張りが完了します。
●たし湯表示が消灯し、湯面表示が点灯します。



- ⑥ 設定されたふろ温度まで沸き上げます。
●湯面表示が点灯します。



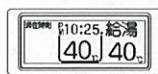
- ⑦ 設定されたふろ温度まで沸き上がると
●発信音「ピロロロ」を2回繰り返します。
●音声ガイド「おふろが沸きました」



- ⑧ 沸き上がり後、約4時間設定温度で保温します。
●保温の必要がないときは、**自動** を押して「切」にします。



- ⑨ 保温が約4時間経過すると自動運転を終了します。
●自動ランプ、湯面表示が消灯します。



途中で自動運転を停止するときは、**自動** を押して「切」にしてください。

使用方法（ふろ）

お願い

- 浴槽の排水栓が閉まっていることを必ず確認してください。
- 循環口からお湯張りしますから浴槽にふたをしてください。
- お湯張りを始めてから一時お湯張りを停止しますが異常ではありません。しばらくするとお湯張りを再開します。
- 自動運転中は、約20分ごとに追いだしをしてふろ温度を保ちます。入浴のタイミングによっては少しぬるい場合もあります。
- 自動運転中は、ふろ排水栓を開けないでください。ふろの排水栓を開けるときは必ず自動運転を停止してください。
- 自動運転またはたし湯運転中に給湯栓から給湯を行うと、給湯量が一時的に少なくなることがあります。

ご注意

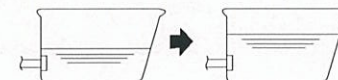
- 自動運転またはたし湯運転中のお湯張り湯温は、浴室リモコンで設定されたふろ温度になります。このとき給湯湯温は給湯温度設定にかかわらず、ふろ温度設定の温度になります。給湯温度を高温に設定しているときは、お湯張りが終了すると高温のお湯が出ますのでやけにご注意ください。
- 何度も **自動** を押して「入」「切」を繰り返すと浴槽からお湯があふれることがあります。

●浴槽の残り湯をそのまま沸かすとき

〈FDW-AG470FXPFFW, FDW-AG470FXPMW, FDW-AG470FXPM, FDW-AG470FXPMPの場合〉

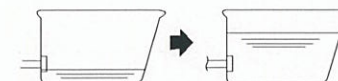
残り湯が循環口より上のとき — **自動** を押して「入」にします。

- 設定されたふろ湯量の不足分をたし湯し、設定温度まで沸き上げて約4時間保温します。
- 沸き上がり時の浴槽の湯量はばらつくことがあります。



残り湯が循環口より下のとき — **自動** を押して「入」にします。

- 設定されたふろ湯量をお湯張りし、設定温度まで沸き上げて約4時間保温します。
- 沸き上がり時の浴槽の湯量はばらつくことがあります。



ご注意 (FDW-AG470FXPFFW, FDW-AG470FXPMW, FDW-AG470FXPM, FDW-AG470FXPMPの場合)

- 設置後初めておふろを使用されるとき
- 1. 1日目（1回目）と2日目（2回目）は必ず浴槽に残り湯がない状態で自動スイッチを「入」にしてください。
- 2. 1日目（1回目）と2日目（2回目）は「おふろが沸きました」と音声でお知らせするまでは入浴したり、浴槽の水栓から水や湯を足したりしないでください。また、途中で自動スイッチを「切」にしないでください。
- 3日目（3回目）からは、残り湯を沸かしたり、途中で入浴したりすることもできます。

使用方法（ふろ）

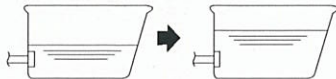
（FDW-AG470AXPFFW、FDW-AG470AXPMWの場合）

残り湯が循環口より上のとき



を押して「入」にします。

- 設定されたふろ湯量の不足分をたし湯し、設定温度まで沸き上げて約4時間保温します。
- 沸き上がり時の浴槽の湯量はばらつくことがあります。
- 残り湯の温度がふろ温度設定に近い場合（7℃以内）は、たし湯を行いません。
- ふろの沸き上げ（残水量演算）中に給湯栓の開閉を繰り返すと、ふろの沸き上がりが遅くなることがあります。



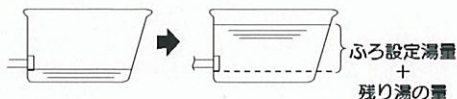
- 夏などに前日の残り湯が冷めずに温かい場合（ふろ温度設定の7℃以内）は、たし湯を行わず沸き上げのみを行います。ふろ湯量が少ない場合は、沸き上げ後たし湯スイッチを押してたし湯運転をしてください。
- 自動運転は循環ポンプ及び配管内に呼び水（10L）を行いますので、水位が上昇することがあります。

残り湯が循環口より下のとき



を押して「入」にします。

- 設定されたふろ湯量をお湯張りし、設定温度まで沸き上げて約4時間保温します。
- 残り湯の量だけ浴槽の湯量が増えます。あふれるようでしたら、自動運転する前に残り湯を排水してください。



■ふろ予約運転

入浴したい時間に待たずに入浴できる自動運転の予約スイッチです。

ふろ予約運転はメインリモコンから行います。

ふろ予約をすると、予約時刻の約30分前に自動運転が始まり、ふろの沸き上げが完了すると発信音、音声で入浴可能をお知らせします。予約時刻まではタイマー表示が表示されています。

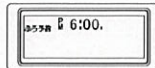
ふろ予約時刻午後6：00の場合 — 工場出荷時の設定 —

- ① を押して「入」にします。

- 「現在時刻」表示が消灯し、「ふろ予約 6：00」表示が点灯します。（発信音「ピッ」）

- ふろ予約スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なく受け付けます。

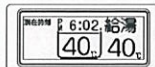
- ふろ予約運転を設定していても、給湯運転はできます。運転スイッチを「入」「切」してもふろ予約運転は取り消されません。



- ② お湯張りして設定温度まで沸き上がると

- 発信音「」を2回繰り返します。

- 「音声ガイド」「お風呂が沸きました」と報知後、約4時間保温運転を行います。



ふろ予約運転を途中で解除するときは、 を押して「切」にします。

- 浴槽に残り湯があるときや残り湯の湯温が高いときは、ふろ予約時刻より早く沸き上がることがあります。
- お湯張り中に給湯をしたり、浴槽の残り湯の湯温が低いときは、ふろ予約時刻より遅れて沸き上がることがあります。

お願い 現在時刻を設定しないとふろ予約運転はできません。現在時刻を合わせてください。（10ページをお読みください。）

使用方法（ふろ）

■ふろ予約時刻の変更方法

- ① を押して「入」にします。

- 「現在時刻」表示が消灯し、「ふろ予約 6：00」表示が点灯します。（発信音「ピッ」）

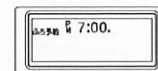
ふろ予約



- ② でふろ予約時刻を変更します。（発信音「ピッ」）

- ふろ予約時刻が変更されるとそのままふろ予約運転となります。

時刻設定



ご注意

- 運転予約スイッチが「入」になっているとふろ予約時刻の変更ができません。必ず運転予約スイッチを「切」にしてふろ予約時刻を変更してください。

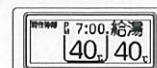
入浴したら

- ぬるいときは を「入」にします。
- あついときは を「入」にします。
- お湯の量を増やしたいときは を「入」にします。

■ふろあつめ運転

入浴してぬるいときは、ふろあつめ運転をしてください。適温になったら「切」にしてください。

- ① が「入」で「予熱」表示が消灯し「給湯」または「高温」表示が点灯していることを確認してください。



- ② を押して「入」にします。

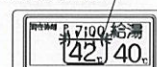
- ふろあつめランプが点灯します。（発信音「ピッ」）
- 「あつくします」表示が3回点滅し、あつめ沸き上げ温度（ふろ温度設定+2℃）が点灯します。
- 「音声ガイド」「あつくします」

- 予熱が完了していないときは、「予熱」表示が消灯し「給湯」または「高温」表示が点灯してからふろあつめ運転を始めます。

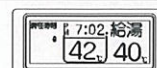


- ③ 湯面表示が点滅し、浴槽内の湯の有無を確認します。

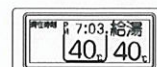
湯面表示点滅



- ④ 浴槽に湯があると湯面表示が点灯になり、ふろを沸き上げます。



- ⑤ ふろ温度設定より約2℃高く沸き上げて運転を停止します。
- ふろあつめランプ、湯面表示が消灯します。



使用方法（ふろ）

- ふろあつめ運転中にふろ温度設定スイッチ  を押すとあつめ沸き上げ温度を1℃高くできます。
- あつめ沸き上げ温度が50℃を表示するとこれ以上の設定はできません。



- ふろあつめ運転中にふろ温度設定スイッチ  を押すとあつめ沸き上げ温度を2℃まで低くできます。
- あつめ沸き上げ温度が37℃を表示するとこれ以下の設定はできません。



適温になり途中でふろあつめ運転を停止するときは、 を押して「切」にしてください。

■たし湯運転

ふろのお湯が少ないときは、たし湯運転で設定されたふろ温度でお湯張りされ、浴槽のお湯を増やせます。

たし湯量設定・たし湯運転の方法

- ①  が「入」になっていることを確認します。
 を続けて押す回数で希望のたし湯量が設定できます。

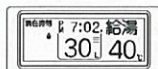
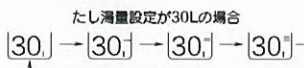


- たし湯ランプが点灯します。（発音音「ビッ」）
- たし湯量の表示が点灯します。

- 1回押し ▶ 30Lたし湯します
（約5cm）
- 2回押し ▶ 60Lたし湯します
（約10cm）
- 3回押し ▶ 90Lたし湯します
（約15cm）
- 4回押し ▶ OFF

- ②  を押してから約5秒後、設定されたたし湯量を循環口より注湯します。

- 音声ガイド「たし湯します」
- たし湯表示が点灯します。



- ③ たし湯運転終了
- たし湯ランプが消灯します。
 - たし湯量表示が消灯します。

途中でたし湯運転を停止するときは、 を押して「切」にしてください。

お願い

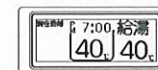
- 給湯栓から給湯中にたし湯運転を行うと、給湯量が一時的に少なくなることがあります。
- たし湯運転中はふろ温度設定の変更はできません。ふろ温度設定の変更は、たし湯運転を行う前にしてください。

使用方法（ふろ）

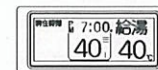
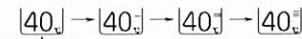
■ふろぬるめ運転

入浴してあついときは、ふろぬるめ運転をしてください。
適温になるまで、ふろぬるめ運転を数回繰り返してください。

- ①  が「入」になっていることを確認します。
 を押して「入」にします。（発音音「ビッ」）
- ぬるくします表示が3回点滅し、初めの表示に戻ります。
 - 音声ガイド「ぬるくします」
 - 予熱が完了していないときは、「予熱」表示が点灯し「給湯」または「高温」表示が点灯してからふろぬるめ運転を始めます。



- ② 浴槽の循環口より注水します。
- たし湯表示が点灯します。



- ③ ふろぬるめ運転終了
- たし湯表示が消灯します。

- 適温になって途中でふろぬるめ運転を停止するときは、 を押して「切」にしてください。
- ふろぬるめ運転をしてもふろのお湯がまだあついときは、再度ふろぬるめ運転をしてください。

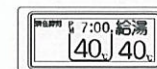
お願い

- ふろぬるめ運転中またはふろぬるめ運転終了後に給湯すると、しばらく水が出ます。
- 給湯中にふろぬるめスイッチを押して「入」にした場合は、給湯使用終了後にふろぬるめ運転を開始します。
- ふろぬるめ運転開始時に循環口からふろ配管内のあつい湯が出ることがあります。

■呼出しスイッチについて

お風呂から赤ちゃんの湯上りなどを知らせることができます。

- ① 浴室リモコンの呼出しスイッチ  を押します。
- 呼出ランプが点灯します。
 - 発音音「ビビビビ」を5回繰り返します。
 - 音声ガイド「お風呂で呼んでいます」



- ② 呼出ランプが消灯します。

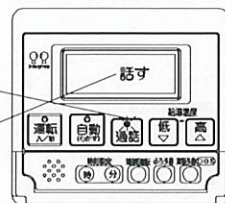
- インターホンリモコンは呼出しスイッチのかわりに通話スイッチとなります。
23～24ページの「使用方法（インターホンリモコン）」の項をお読みください。

使用方法(インターホンリモコン)

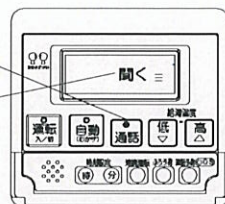
- 運転スイッチの「入」「切」に関係なく通話ができます。
- どちらのリモコンからでも通話できます。(同時に両方から話すことはできません)

台所から浴室へお話しするとき

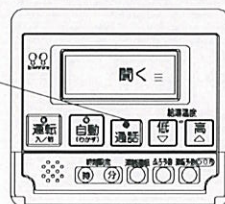
- ①メインリモコンの「通話」を押します。
 - ・メインリモコンの通話ランプが点滅します。
 - ・メインリモコンと浴室リモコンで「ビビビビ」を2回くり返し、呼出し音が鳴ります。
 - ・メインリモコンに「話す」を表示します。(話すことができます)
- ※呼出し音が鳴っている間にもう一度「通話」を押すと呼出し音が止み、通話ランプが消灯し元の表示に戻ります。



- ②メインリモコンでのお話しが終わりましたらメインリモコンの「通話」を押します。
 - ・メインリモコンの通話ランプが点灯します。
 - ・メインリモコンと浴室リモコンの通話が切替ります。
 - ・メインリモコンに「聞く」と「≡(バー)」を表示します。(聞くことができます)
- ※「通話」を押さなければ、「話す」が表示されてから通話時間10秒経過後、メインリモコンと浴室リモコンの通話が自動的に切替ります。

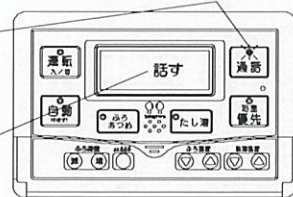


- ③浴室リモコンでのお話しが終わりましたら、メインリモコンの「通話」を押します。
 - ・通話を終了し、元の表示に戻ります。
- ※「通話」を押さなければ、「聞く」が表示されてから通話時間10秒経過後、自動的に通話を終了し、元の表示に戻ります。

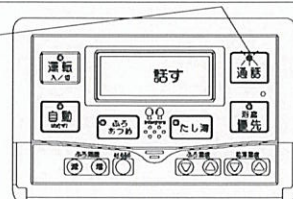


浴室から台所へお話しするとき

- ①浴室リモコンの「通話」を押します。
 - ・浴室リモコンの通話ランプが点滅します。
 - ・メインリモコンと浴室リモコンで「ビビビビ」を2回くり返し、呼出し音が鳴ります。
 - ・浴室リモコンに「話す」を表示します。(話すことができます)
- ※呼出し音が鳴っている間にもう一度「通話」を押すと呼出し音が止み、通話ランプが消灯し元の表示に戻ります。



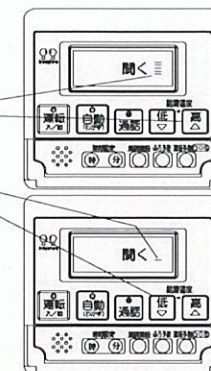
- ②浴室リモコンでのお話しが終わりましたら浴室リモコンの「通話」を押します。
 - ・通話を終了し、元の表示に戻ります。
- ※「通話」を押さなければ、「話す」が表示されてから通話時間10秒経過後、自動的に通話を終了し、元の表示に戻ります。



使用方法(インターホンリモコン)

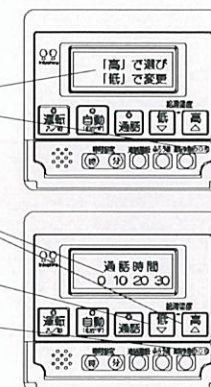
受話音量を変えるには

- 聞いているときに給湯温度「高」(▽)「低」(△)を押します。
- ・「高」(△) 1回押して、バー表示が1本増え音量が大きくなります。(最大音量バー表示5本)
 - ・「低」(▽) 1回押して、バー表示が1本減り音量が小さくなります。(最小音量バー表示1本)
- ()内は浴室リモコンのスイッチを表します。
- ※初期設定(工場出荷時)はバー表示3本です。
- ※受話音量を変更するとその後も変更した音量で記憶します。
- ※通話中給湯温度「高」(▽)「低」(△)は受話音量変更以外使えません。
- ※メインリモコンと浴室リモコンで別々に設定できます。



通話時間を変えるには

- ※オプションスイッチ機能で通話時間0, 10, 20, 30秒から選択することができます。
- ①「通話」が「切」の状態ではメインリモコンの「オプションスイッチ」をボールペンの先の様なもので押して「入」にします。(針の様な先の鋭いものは使用しないでください。)
 - ・「オプションスイッチ」の次に「高」で調整「低」で変更と表示が点灯されます。
 - ②給湯温度「高」を押すごとに表示内容が切替ります。
「通話時間 0 10 20 30」を表示させてください。
 - ③給湯温度「低」を押すと点滅しているデータが右へ移動します。設定したい通話時間を選びます。
 - ④「オプションスイッチ」を押して変更を終了します。
- ※初期設定(工場出荷時)は「10」秒です。
- ※「0」秒に設定した場合は、
- ・インターホン機能は使用できなくなります。
 - ・浴室リモコンのみ「通話」スイッチは呼出しスイッチとして使用できます。
 - ・メインリモコンの「通話」スイッチは操作を受け付けません。
 - ・6ページの「呼出しスイッチについて」の項をご覧ください。



ご注意

- 通話の際はリモコンから約50cmは離れた位置でお話してください。
- 言葉が途切れたり、声が小さいときは、リモコンに近づいてお話してください。
- 浴室・メインリモコン同時に両方から話すことはできません。リモコンに「話す」が表示されてからお話してください。
- おふろの自動運転や追いだきなどのふろ運転中も通話できますが、通話中に運転、自動、ふろあつめ、ふろぬるめ、たし湯スイッチを押すと通話を終了し、押されたスイッチの運転を行います。その他のスイッチは通話中受け付けません。(受話音量変更による給湯温度「高」「低」スイッチは除く)
- 使用環境によっては通話音声に雑音が混ざったり、通話音声が一瞬途切れることがありますが、これはリモコンの故障ではありません。
- 浴室リモコンと浴室テレビと一緒に取付けてお使いの場合は、テレビの音量を小さくするか、テレビを「切」にしてから通話してください。テレビの音声で相手の話し声が聞き取りにくくなります。
- 通話中に予熱が完了した場合やおふろが沸き上がった場合は通話終了後に報知します。
- スwitchの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると受け付けられない場合がありますので、再度スイッチを確実に押してください。
- スwitchの操作を行うと小さな雑音が聞こえますが、リモコンの故障ではありません。

使用方法

■オプションスイッチ

オプションスイッチ機能で、故障時の連絡先の電話番号登録や、リモコンの音量、明るさなどが変更できます。

●オプションスイッチには14種類の機能がります。

No.	表 示	内 容	初期設定	デ ー タ
1	T E L 登 録	異常時の連絡先（電話番号）を登録すると異常（モニターサイン）時に表示します。	—	最大12桁登録可能
2	※1 スタンバイ時間	スタンバイ（待機）時間が変更できます。	1.5時間 (90分)	0.5・1・1.5・2・3・ 4・5・6 (時間)
3	保 温 時 間	ふろ沸き上がり報知後の保温時間が変更できます。	4時間	0・1・2・4・6・12 ∞ (連続) (時間)
4	あ つ め 温 度	ふろあつめの沸き上げ温度（ふろ設定温度＋あつめ温度）が変更できます。	+2℃	0・+1・+2・+3 (℃)
5	※2 循 環 ポ ンプ	循環ポンプを駆動してふろ配管の凍結を予防する機能（循環ポンプ凍結予防運転）です。	有り	有り・無し
6	メ イン 音 量	メインリモコンの音量が変更できます。	中	無・小・中・大
7	浴 室 音 量	浴室リモコンの音量が変更できます。	中	無・小・中・大
8	リモコン操作音	接続している全てのリモコンの操作音有無を選択することができます。	有り	有り・無し
9	メ イン 輝 度 量	メインリモコンの蛍光管表示部の明るさを変更できます。	明	暗・明
10	浴 室 輝 度 量	浴室リモコンの蛍光管表示部の明るさを変更できます。	明	暗・明
11	表 示 消 灯	お湯を使用しないと、接続している全てのリモコンの蛍光管表示部を消灯する節電機能です。	有り	有り・無し
12	※3 補 水 量 補 正	自動補水機能の有無の切替や、補水量の補正をすることができます。	0	補水無し・-30～+30 (10刻み) (%)
13	運 転 終 了 音	スタンバイ（待機）時間終了5分前と終了時にリモコンから報知音でお知らせする機能です。	無し	有り・無し
14	※4 通 話 時 間	インターホンリモコン接続時、通話時間が変更できます。	10秒	0・10・20・30秒

※1 スタンバイ時間とは、運転スイッチを切り忘れても設定された時間になると運転スイッチが自動的に「切」になる時間のことです。

※2 基本的に循環ポンプ凍結予防運転は「有り」でご使用ください。循環ポンプ凍結予防運転を「無し」にした場合は、循環ポンプ凍結予防運転が働かなくなりふろ配管が凍結する場合があります。必ずふろ配管の凍結予防ヒータの追加、保温材の追加等十分な処置をおこなってください。（凍結予防対策をしない、または不十分な対策によりふろ配管が凍結した場合は責任を負えません。）

※3 補水量補正は、FDW-AG470AXPFFW、FDW-AG470AXPMWのみ表示します。

・前日の残り湯を沸かしなおす場合、残り湯の量を計算して不足分をたし湯する機能があります。

・不足分をたし湯する必要がない場合、「補水無し」に変更してください。

・ふろ配管の施工条件により計算結果がばらつくことがあります。お湯張り量が多めになる場合はマイナス（－）側、少なめになる場合はプラス（＋）側に変更してください。

※4 通話時間は、インターホンリモコンのみ表示します。

使用方法

■オプションスイッチの操作・設定変更方法

オプションスイッチはメインリモコンから行います。

No.1 TEL 登録の方法

① が「切」の状態メインリモコンの (オプションスイッチ) 部の穴にボールペンの先などを差し込み、スイッチを押して「入」にします。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）

●オプションスイッチ 表示の次に、 で選択 で変更 の表示が点灯します。



②給湯温度 スwitchを押して1回押します。

●TEL 登録 表示が点灯します。



③時刻設定 スwitchを押して点滅しているバー表示を希望の数字に合わせます。

●合わせた数字が点滅します。



④時刻設定 スwitchを押して合わせた数字を確定します。

●合わせた数字が点灯に切り替わります。

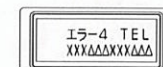


⑤以下同様に時刻設定 スwitchで電話番号を登録します。



⑥ スwitchを押して電話番号の登録を終了します。

●故障時にはエラーNo.表示と共に連絡先の電話番号が表示されます。



No.2～No.11、13、14の方法

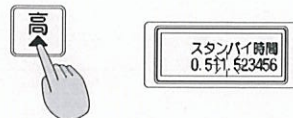
① が「切」の状態メインリモコンの (オプションスイッチ) 部の穴にボールペンの先などを差し込み、スイッチを押して「入」にします。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）

●オプションスイッチ 表示の次に、 で選択 で変更 の表示が点灯します。

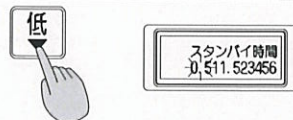


使用方法

- ②給湯温度 **高** スイッチを押すごとに表示内容が前記一覧表のNo.1～No.14の順に切り替わります。
変更する内容の表示を選びます。



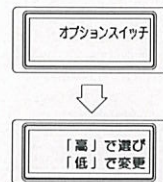
- ③給湯温度 **低** スイッチを押すごとに点滅しているデータが切り替わりますので、設定したいデータを選びます。



- ④ **OS** スイッチを押して変更を終了します。

No.12 補水量補正の方法

- ① **運転** が「切」の状態メインリモコンの **OS** (オプションスイッチ) 部の穴にボールペンの先などを差し込み、スイッチを押して「入」にします。(針のような先の鋭いものは使用しないでください。)
- **オプションスイッチ** 表示の次に、**「高」で選び「低」で変更** の表示が点灯します。



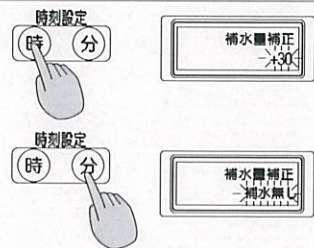
- ②給湯温度 **高** スイッチを押して**補水量補正**表示にします。



- ③時刻設定 **(時)** スイッチまたは **(分)** スイッチを押して希望の数字に合わせます。

- 時刻設定 **(時)** スイッチを押すごとに +10 → +20 → +30 と切り替わります。

- 時刻設定 **(分)** スイッチを押すごとに -10 → -20 → -30 → 補水無しと切り替わります。

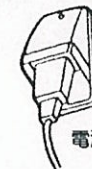


- ④ **OS** スイッチを押して変更を終了します。

- **OS** スイッチを「入」にしたときや、給湯温度 **高** スイッチで表示内容を切り替えたとき、約10秒以上次の操作が行われないと、そのときのデータでオプションスイッチ機能が終了します。
- 設定されたデータは、停電があっても保持されます。

凍結予防

- 冬期は暖かい地域でも給水・給湯配管、ふろ配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。このような事故を予防するため、次のような処置をお取りください。
- 凍結による修理は、保証期間内でも保証の対象外となります。



凍結予防運転による方法 (通常のとき)

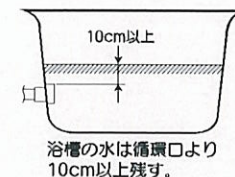
- 電源プラグは、コンセントから抜かないでください。

■給湯側

- この機器には、外気温が下がると自動的に機内を保温するヒータが組み込まれています。機内の凍結は予防できますが、機外の給水・給湯配管の凍結予防はできませんので、必ず保温材やヒータで、保温してください。

■ふろ側

- 循環ポンプが凍結するおそれのある気温になると、ポンプが自動的に運転して凍結を予防します。凍結のおそれのあるときは、浴槽に、循環口より10cm以上水を残して、ポンプが空運転しないよう注意してください。
- この方法は、循環ポンプの凍結は予防しますが、ふろ配管の凍結は防げませんので、ふろ配管は必ず保温材やヒータで、保温をしてください。また、機器や循環口との接続部についても、露出していると凍結のおそれがありますので必ず、保温してください。



通水による方法 (異常寒波など外気温が-15℃以下になる日やそれ以上の外気温でも風のある日)

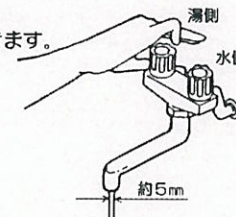
- 電源プラグは、コンセントから抜かないでください。

■給湯側

- この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。

- ①リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- ②給湯栓から1分間に約400cc (給湯栓からの水の太さ約5mm) の水を出してください。

【流量が不安定なことがありますので念のため約30分後にもう一度流量を確認してください】



凍結予防

■ふろ側

- 凍結予防運転による方法**と同様に、循環ポンプが凍結するおそれのある気温になると、循環ポンプが自動的に運転して凍結を予防します。
- ・この場合もふろ配管はしっかり保温することが必要です。
- ・浴槽の水は循環口より10cm以上残してください。

水抜きによる方法 (異常寒波などのとき・長期不在のとき)

●水抜きの方法

- 給湯運転、ふろ運転直後は熱交換器内のお湯が高温になっていますので、冷えてから行ってください。やけどのおそれがあります。

①リモコンの運転スイッチを「切」にします。

②浴槽の水を排水し、油タンクの送油バルブ①、給水元栓②を閉めます。

③全ての給湯栓③を開きます。

④過圧逃し弁④を外します。

- 給水口水抜き栓⑤を外します。
(外した部品はなくさないでください。)

- 過圧逃し弁④および給水口水抜き栓⑤からの排水を設置場所によっては2L程度の容器で受けてください。

⑤リモコンの運転スイッチが「切」の状態では浴室リモコンの浴室優先スイッチを約5秒以上押しします。

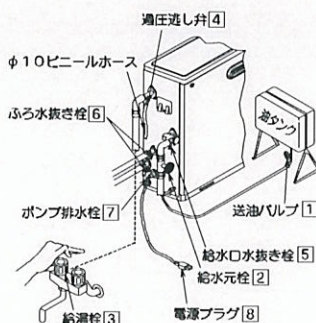
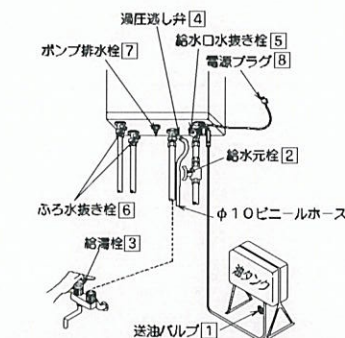
- リモコンの表示部に「水抜き中」が点灯し循環ポンプを約3分間運転し、浴槽へふろの配管内の水を排水します。

- 約3分経過後、ふろ水抜き栓⑥を2個及びポンプ排水栓⑦をはずします。

- ふろ水抜き栓、ポンプ排水栓からの排水を設置場所によっては2L程度の容器で受けてください。

⑥リモコン表示部の「水抜き中」表示が消灯した(約9分)後、電源プラグ⑧をコンセントから抜きます。

※取り外した過圧逃し弁、水抜き栓、排水栓はなくさないでください。



●水抜き後再使用するとき

①全ての給湯栓③を閉めます。

②外した過圧逃し弁、排水栓すべてを取り付けます。

- 右図を参照して、取り付け場所を間違わないでください。間違えると機器が正常に作動せず故障の原因となります。

- 取り付け部が凍結している場合は、お湯をかけて解凍してから確実に取り付けてください。

④・・・過圧逃し弁(真ちゅう製)

⑤～⑦・・・水抜き栓、排水栓(樹脂製、リング1個)

③給水元栓②を開き、全ての給湯栓③から水が出ることを確認します。

④油タンクの送油バルブ①を開きます。

⑤電源プラグ⑧をコンセントに差し込みます。

- 電源プラグを抜いたことで時計表示が初期設定になっています。時刻設定をしてください。
(10ページの「はじめてお使いになる場合 ■現在時刻合わせ」をお読みください。)

凍結予防

凍結したときのご注意

- 電源プラグをコンセントに差し込むと循環ポンプがブー音を発生しますが、電源プラグは差し込んだままにしておいてください。
リモコンの「予熱」表示が消灯したら自動スイッチを「入」にして、浴槽へお湯張りしてください。循環ポンプから大きな音が長時間続くようなときは、販売店に連絡してください。
- 給湯栓から水の出が悪いときや水が出ないときは、凍結していますので運転を停止し溶けるのを待って水の流れが正常になってから運転してください。
- ふろが沸かない(循環しない)ときや、ふろ運転中にエラー43またはエラー47が表示するときは、ふろ配管が凍結していますので、溶けるのを待ってください。このときは、給湯を使用して入浴してください。

使用上の注意

■やけどに注意

- △注意** 燃焼中や消火直後は、高温部、給排気筒トップ、吹出口、枠上部に手などふれないでください。やけどのおそれがあります。

■みだりに飲用に用いないでください。

- 使用水の品質、配管材料の劣化、水あかなどにより、水質が変わることがあります。なお、熱交換器や配管内にたまっていた水は飲用または調理に用いないでください。

■ふろ運転について

- 浴槽の循環口は、タオルなどでふさがないようにください。
- 浴槽の循環口フィルタは必ず取り付けて運転してください。
- 浴槽の循環口フィルタは浴槽の清掃のときに必ず清掃してください。

■入浴剤や洗剤について

- 硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器が腐食する原因となりますので使用しないでください

■シャワーについて

- △注意** シャワーを使用する場合、手で湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。

■雷が発生したとき

- 雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントより抜いてください。

長期間使用しないとき

長期間使用しないときは、次の処置をしてください。

- 水抜きを行ってください。(29ページの**水抜きによる方法**をお読みください。)
- 油タンクの送油バルブを閉めてください。
- リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

5 安全装置

対震自動消火装置

地震（震度約5以上）や強い振動、衝撃を受けた場合、自動的に消火します。エラー表示：2

●地震によって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れ、給排気筒の外れなど異常がないことを確認してから運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にしてください。

燃焼制御装置

点火不良、燃焼不良、油切れなどのとき、これを検知してバーナの運転を停止します。油切れのときのエラー表示：「給油」

●油切れのときは9ページの「給油」の項に従って給油します。
●それ以外の場合は運転スイッチを「切」にして、お買い求めの販売店に連絡してください。

停電安全装置

停電や電源プラグが抜けたとき、運転を停止します。

●停電復帰後は、運転を開始します。使用しないときは、リモコンの運転スイッチを「切」にします。
●長い停電のときは、停電復帰後に運転ランプが点滅します。このときは、運転スイッチを「入」にしてください。（10ページの「はじめてお使いになる場合」の項をお読みください。）

空だき防止装置

熱交換器に水が入っていないとき、機器を運転させない装置です。

●正しく給水されているか確認後、運転操作をしてください。

6 その他の装置

その他の装置が作動したときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 漏電保護装置 —— 異常が発生して漏電したとき、運転を自動的に停止します。
- 送風機回転検知 —— 送風機の回転に異常があったとき、運転を自動的に停止します。
- 油面検知 —— 万ーレベータータンクの油面が異常に上昇したとき、運転を自動的に停止します。

7 点検・手入れ

日常の点検・手入れ

■点検、手入れのときの注意

- メインリモコンの運転スイッチを「切」にして、機器が冷えてから行ってください。やけどのおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電気部品は絶対に分解しないでください。

日常の点検・手入れ

■点検、手入れの必要項目、時期、方法

1. 周囲の可燃物（日常）

- △注意** 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。

2. ほこり（日常）

- 機器の上や周囲のほこりは燃焼不良の原因となりますので常に清掃してください。
- 電源プラグにほこりがたまっている場合は除去してください。

3. 油漏れ、油のたまり、油のにじみ（日常）

- 送油経路（特に接合部）の油漏れがないか、また機器の下に灯油のたまり、にじみがないか点検してください。油漏れのあるときは、使用を中止してお買い上げの販売店に連絡してください。

4. ゴム製送油管の点検、交換の目安

- △注意** ゴム製送油管は、屋外で使わないでください。屋外での使用は禁止されています。
- 屋内でゴム製送油管を使用しているときは、膨潤、収縮、変質、変形、ひび割れがないか確認してください。ひび割れは見ただけでは見つけにくいので手で少し曲げて確認し、ひび割れなどの異常があるときは交換してください。交換の目安は3年に一度です。

5. 油タンク（水抜きを含む。）（1カ月に1回以上）

- 油タンク内には、水・ゴミがたまりやすく、多くたまるとバーナの方へ流れ出て燃焼不良の原因になります。油タンク内に水がたまっていないか確認し、たまっているときは油タンクの水抜きドレン口から水抜きをしてください。

6. 給排気筒の接続部のゆるみおよびトップの周囲（FDW-AG470FXPFFW、FDW-AG470AXPFFW — 日常）

- △警告** 給排気筒（管、ホース）が外れたまま使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- △警告** 給排気筒トップの周りが雪でふさがれたまま使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- 給排気筒トップの周囲に燃えやすいものがないか、確認してください。

7. 水漏れ（日常）

- 機器本体および配管・継手部から水漏れがないか、確認してください。

8. オイルフィルタの点検（1年に1回以上）

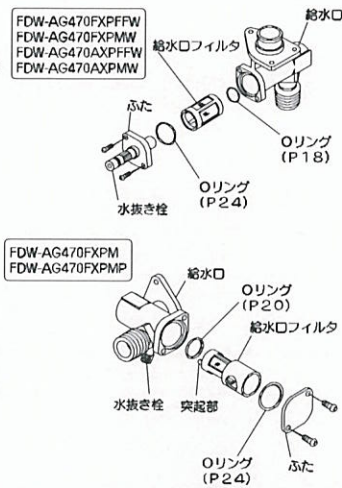
- オイルフィルタに、水やゴミがたまっていないか販売店に点検を依頼してください。

9. アース（日常）

- アース線がアース棒と機器の間で切れていないか、アース棒は十分に地中に埋め込まれているか時々確認してください。不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

10. 給水口フィルタの掃除 (3カ月に1回以上)

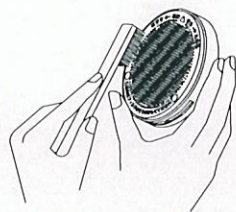
- 給水口フィルタにゴミがたまっていないか確認してください。
- ①給水元栓を開めます。
- ②給湯栓を開きます。
- ③過圧逃し弁を外し、水抜き栓をゆるめて排水した後、給水口フィルタを外しゴミを洗い流してください。
- ④過圧逃し弁および水抜き栓からの排水を設置場所によっては2L程度の容器で受けてください。
- ⑤右図のように、各部品を元通り組み付けてください。



FDW-AG470FXPM, FDW-AG470FXPMPは、給水口フィルタの突起部が給水口の内部壁面にあるへこみ部に合わせ(突起部を給水口の給水配管側に) 給水口フィルタを給水口の中に差し込んでください。突起部がへこみ部に入り込まないと、給水口フィルタが給水口の中に完全に入らず水もれの原因となります。

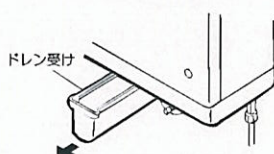
11. 循環口フィルタの掃除

- 浴槽の掃除のときは、必ず掃除してください。
- 循環口のフィルタを左方向にまわして外し、古歯ブラシ等で正面と側面の網部分にたまったゴミを、内側と外側から取り去り、水洗いしたあとで元通り取り付けてください。
- 循環口フィルタの取り付けが不完全ですと、ふろのお湯が十分に沸き上がらないことがありますので、フィルタは確実に取り付けてください。



12. ドレン受けの水を捨ててください (2日に1回程度)

- 過圧逃し弁からの膨張水を受けるためのドレン受けが取り付けられているときは、満水になる前に、手前に引いて水を捨ててください。



定期点検

■定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要です。機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。

なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては(社)日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4~6年に1回程度をおすすめします。

点検はお買い上げの販売店または、修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(Tel03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる店などにご相談ください。

8 故障・異常の見分け方と処置方法

早見表による見分け方

- 万一具合の悪いときは、下記の早見表にもとづいて点検・処置してください。
- 原因のわからないときや処置のむずかしいときは、機器の使用を中止し、お買い上げの販売店または、お近くのコロナお客様相談窓口にご連絡ください。

	現 象	原 因	処 置 方 法
予 熱 中	運転スイッチを入れても運転ランプがつかない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込む。
		電源の元スイッチ(ブレーカー)が「切」になっている。	電源の元スイッチを「入」にする。
		停電している。	通電するまで待つ。
		漏電保護装置が作動している。	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す。それでも直らない場合は販売店に連絡してください。
運 転 開 始	運転ランプは点灯するが、給湯栓を開いてもお湯が出てこない。(点火しない)	予熱が完了していない。	「予熱」表示の消灯を待つ。 (約2分30秒)
		給水元栓・給湯栓のしぼりすぎで、給湯量が少ない。	給水元栓・給湯栓を開き、給湯量を増やす。
	「給油」表示してお湯が出てこない。(点火しない)	油タンクの送油バルブが閉まっている。	油タンクの送油バルブを開き、運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にする。
		油切れしている。	油タンクに給油し、送油経路内の空気抜き(9ページをお読みください。)をしたのち、運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にする。
		油配管接続部から空気を吸っている。	販売店に連絡してください。
	リモコンにエラー表示「2」が点滅する。	「対震自動消火装置の作動」地震(震度約5以上)や強い振動、衝撃を受けた。	地震によって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れ、給排気筒の外れなどの異常がないことを確認してから運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にする。
燃 焼 中	全くお湯(水)が出ない。	給水元栓が閉まっている。	給水元栓を全開にする。
	高温のお湯が出ない。 低温のお湯が出ない。	給湯温度設定が適正でない。	給湯温度を再設定する。 (11ページをお読みください。)
	お風呂のお湯がぬるい。 お風呂のお湯があつい。	風呂温度設定が適正でない。	風呂温度を再設定する。 (16ページをお読みください。)
		循環口フィルタがつまっている。	循環口フィルタを掃除する。
		循環口フィルタの取付けが完全でない。	循環口フィルタを右方向にしっかり回す。
	お風呂が沸かない。	循環していない。	販売店に連絡してください。
	燃焼音が異常。 ススを出して燃える。	販売店に連絡してください。	
	油漏れしている。	⚠警告 ●このままご使用を続けると大変危険ですので、使用を中止し販売店に連絡してください。	
給排気筒が外れている。 (該当機種 FDW-AG470FXPFFW, FDW-AG470AXPFFW)			
水漏れしている。	販売店に連絡してください。		
アース線が切れている。 アースがない。	⚠注意 ●このままご使用を続けると感電のおそれがありますので、使用を中止し販売店に連絡してください。		

次の現象は故障ではありません

■リモコンの表示が消える

リモコンの電力消費を抑えるため、約5分間給湯運転、ふろ運転が行われないとリモコンの蛍光管表示部が点灯します。運転ランプのみ点灯して運転スイッチが「入」であることをお知らせします。給湯運転、ふろ運転または、リモコンスイッチ操作を行うとリモコンの蛍光管表示部が点灯します。

■給湯栓をしぼりすぎると運転しない

この機器は給湯栓を極端にしぼりすぎるとバーナが着火しないことがあります。給湯栓をさらに開いてください。

■同時給湯したときの湯温の変動

2箇所同時に給湯すると、給湯配管の方法、給湯栓の開き具合によって、それぞれの給湯栓のお湯の量が異なり、湯温が変動することがあります。特に、シャワーをご使用中に他の給湯栓を同時に使用しますと湯温や湯量が変動しますので、ご注意ください。

■給湯栓開閉時の湯温変動

給湯栓を開いて再び開いたときは、ぬるくなったり、あつくなくなったりすることがあります。

■給湯栓を開いてもすぐお湯が出ない

- 機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出るまで少し時間がかかります。
- リモコンに「予熱」表示が点滅している場合は「予熱」表示が消灯し、「給湯」または「高温」表示が点灯するまで待ってください。

■給湯栓を開くとお湯の量が増える

給湯栓を開いた直後に、お湯の量が少なくなる場合があります。湯温を安定させるためにマルチサーモメカが水量を調節しているためです。

■お湯の白濁

出湯直後にお湯が白く濁って見え、しばらくすると透明になることがあります。水圧が高いと水に溶け込んでいた空気が分離して、細かい気泡となって出てくる現象で無害なものです。(減圧弁を使用すると少なくなります。お買い上げの販売店にご相談ください。)

■浴槽や洗面台に青いものが付着する

水中に含まれる微量の銅イオンと湯あか(人の身体や石けんからでた脂肪分)が反応してできた「銅石けん」が、青く見えるためです。銅石けんは無害で健康上問題はありません。浴槽や洗面台をこまめに掃除することで付着しにくくなります。

■運転中に時々「ピー音」がする

灯油を汲み上げるために、汲み上げポンプが運転している音です。

■運転中に時々「ジージー」音がする

出湯温度を安定させるために、マルチサーモメカが作動している音です。

■使用していないのに、たまに送風機の音がする

機器内の電装品を保護するために送風機が運転している音です。

■運転停止後しばらく送風機の音がする

燃焼室内の排ガスを排出するために送風機が運転している音です。

■バーナの運転が断続

給湯量が少ないと変動幅の少ない安定した湯温で給湯するために、マイコンの制御によりバーナが着火、消火を繰り返すことがあります。

■排気口からの白煙(冬期)

冬期には排ガス中の水蒸気が水滴に変わるため排気口(吹出口)から白煙となって出ることがあります。

■給油後時々「給油」表示になる

油切れになると給油しても、送油経路内の空気のためにエラーの「給油」表示が点灯することがあります。このときは、運転スイッチを入れ直してください。

「給油」表示の解除は運転スイッチからは3回まで可能です。さらに「給油」表示の解除が必要な場合は、機器本体のプリント基板にあるリセットスイッチを軽く押すか、または電源プラグを電源コンセントから抜き、約5秒後差し込んでください。

■過圧逃し弁からお湯(水)が出ることがある

給湯使用直後やふろ運転中に、熱交換器内の上昇した圧力を逃がすため、わずかな間お湯(水)が出ることがあります。

■冬期間、ふろ運転していないのに循環ポンプが運転する

循環ポンプの凍結予防運転によるものです。

モニターサインによる見分け方

- リモコンのエラー表示によって、故障原因を判断することができます。
- 販売店に連絡していただく際は、表示されているエラー表示の数字やアルファベットをお知らせください。

エラー表示	処置方法
■モニター表示して全停止のとき	
「給油」油切れ検知の作動(レベラータンク空) (「給油」表示は点灯します)	「給油」油切れの確認、他は販売店に連絡してください。
2 地震(震度約5以上)や強い振動、衝撃を受けた。 (対震自動消火装置の作動)	2 地震によって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れ、給排気筒の外れなど異常がないことを確認してから運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にしてください。
3 空だき検知	3 給水後、運転スイッチを入れ直してください。
10 疑似火災検知	10 }
11 不着火検知	11 }
12 途中消火検知	12 }
14 気化器サーミスタ・ヒータの断線	14 }
15 気化器サーミスタの短絡または、気化器の温度異常	15 }
18 気化器ヒータの異常過電または、気化器ヒータの断線	18 }
21 油面異常検知の作動(レベラータンク内)	21 }
23 送風機の回転異常	23 }
31 給湯サーミスタの短絡	31 }
32 給湯異常停止サーモの作動	32 }
34 熱交サーミスタの短絡	34 }
41 ふろサーミスタの短絡	41 }
42 ふろ異常停止サーモの作動	42 }
46 ふろ湯張り温度異常	46 }
50 異常燃焼	50 作動した場合は、設置場所へ行き給排気筒トップの回り、吹出口が雪や異物によりふさがれていないか確認してください。ふさがれているときは、取り除いてください。機器が冷えて(約10分)からリモコン運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にしてください。エラー50の解除は運転スイッチから3回まで可能です。それでもエラー表示する場合は、使用を中止して販売店に連絡してください。
51 混合室サーミスタの断線	51 }
52 混合室サーミスタの短絡または、混合室ヒータの異常過電	52 }
■モニター表示するが給湯運転可能なとき	
「給油」給油検知の作動(別売部品キューケンチソウチOT-2 取付時) (「給油」表示は点滅します)	「給油」油タンク内の灯油が残り少なくなりました。早めに給油してください。
22 水検知の作動(レベラータンク内)	22 }
38 給湯温度高温異常	38 }
40 ふろサーミスタの断線	40 }
43 流水スイッチの断線または動作不良	43 }
44 流水スイッチの短絡	44 }
47 給湯・湯張りフロースensaの異常	47 }

9 部品交換のしかた

- 循環口フィルタ
循環口フィルタは破損したものを使っていると、循環ポンプにゴミが入り故障の原因となりますので、痛んだときは早めに交換してください。
- 部品交換は処理が難しいので、お買い上げになった販売店に依頼してください。
- 修理を依頼する場合は、(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)などのいる販売店などに依頼してください。
- 部品交換は純正部品とご指定ください。

■交換対象部品

- 定期的に交換が必要な部品は次のとおりです。

炎監視装置(フレイムロッド)

- フレイムロッドが消耗してきた場合、点火不良や途中消火をおこします。

点火プラグ

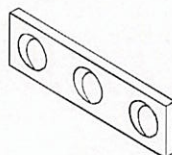
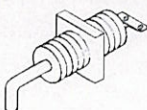
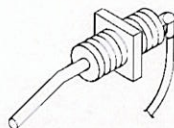
- プラグ先端部が消耗したり、ススで汚れたりすると点火不良をおこします。

パッキン類(バーナ部)

- パッキン類(バーナ部)が劣化しますと、燃焼ガスがもれたり、燃焼不良の原因になります。(メンテナンス時分解した場合は必ず交換が必要です。)

Oリング(給水口・出湯口・水抜き栓)

- 長期の使用により劣化しますと水漏れの原因になります。



10 仕様

型 式 の 呼 び		FDW-AG470FXPFFW (基本型式 UKB-AG470FXP(FFW))	FDW-AG470FXPMW (基本型式 UKB-AG470FXP(MW))	FDW-AG470FXPM (基本型式 UKB-AG470FXP(M)) FDW-AG470FXPMP (基本型式 UKB-AG470FXP(MP))	FDW-AG470AXPFFW (基本型式 UKB-AG470AXP(FFW))	FDW-AG470AXPMW (基本型式 UKB-AG470AXP(MW))	
種 類	給 排 気 方 式	屋内用密閉式強制給排気形		屋外用開放形		屋内用密閉式強制給排気形	屋外用開放形
	燃 焼 方 式	気化式					
	加 熱 形 態	瞬間形					
	加 熱 方 式	2缶2水路式					
	給 水 方 式	水道直結式					
	ふろがま経路の循環方式	強制循環式					
点 火 方 式	高電圧放電方式(ポストイグニッション方式)						
使 用 燃 料	灯油(JIS 1号灯油)						
燃 料 消 費 量	給湯側	53.76kW(5.22L/h)					
	ふろ側	17.06kW(1.7L/h)(初期水温10℃のとき)					
出 力	給湯側	14.5kW					
沸 騰 効 率	給湯側	85.0%					
連 続 給 湯 効 率	給湯側	86.5%					
連 続 給 湯 出 力	給湯側	46.5kW					
熱 交 換 器 容 量	給湯側	0.9L					
	ふろ側	1.1L					
使用圧力(最高使用圧力)	1MPa						
伝 熱 面 積	給湯側・ふろ側	1.6㎡					
外 形 寸 法	高さ: 645mm 幅: 470mm 奥行: 210mm	高さ: 690mm 幅: 470mm 奥行: 210mm	高さ: 615mm 幅: 660mm 奥行: 210mm	高さ: 645mm 幅: 470mm 奥行: 210mm	高さ: 690mm 幅: 470mm 奥行: 210mm	高さ: 690mm 幅: 470mm 奥行: 210mm	
	質 量	30kg	31kg	34kg	30kg	31kg	
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz						
定 格 消 費 電 力	給湯側	点火時 700/700W 燃焼時 85/85W	700/700W 82/82W	700/700W 82/82W	700/700W 85/85W	700/700W 82/82W	
	ふろ側	点火時 730/760W 燃焼時 110/140W	730/760W 110/140W	730/760W 110/140W	730/760W 110/140W	730/760W 110/140W	
	給湯・ふろ 同時使用	点火時 790/820W 燃焼時 175/205W	790/820W 175/205W	790/820W 175/205W	790/820W 175/205W	790/820W 175/205W	
	待機時消費電力	3.6/3.6W	(FDW-AG470FXPMPは3.9/3.9W)			3.5/3.5W	
給排気筒の型式の呼び	QU8-2LM	—			QU8-2LM	—	
給排気筒の呼び径	D80	—			D80	—	
給排気筒の壁厚寸法の呼び	φ120mm	—			φ120mm	—	
排 気 温 度	260℃以下						
騒 音 レ ベ ル	50dB (室内側 大45dB 小33dB 小28dB)	49dB (中38dB 小36dB)			50dB (室内側 大45dB 小33dB 小28dB)	49dB (中38dB 小36dB)	
循 環 管 取 付 口 径	R1/2 (15Aオネジ)						
基 準 浴 槽	有効水量 200~220L(2人用)						
電 流 ヒ ュ ーズ	15A・8A						
温 度 ヒ ュ ーズ	184℃						
安 全 装 置	・対震自動消火装置 ・燃焼制御装置 ・停電安全装置 ・空だき防止装置						
そ の 他 の 装 置	・漏電保護装置 ・送風機回転検知 ・油面検知						
付 属 品	・浴室リモコン ・リモコンカバーセット ・リモコン取付用ねじ ・給水口保温材 ・出湯口保温材 ・取扱説明書 ・工事説明書 ・所有者票						
	壁掛金具		調節バルブ用金具		壁掛金具		
	・メインリモコン(本体取付式) ・操作部シール板 ・ゴム製送油管セット ・送油管(ナット付) ・ドレン受け ・ホッパードレンホース		・メインリモコン ・オイルフィルタ ・φ8×2.5m銅パイプセット		・メインリモコン(本体取付式) ・操作部シール板 ・ゴム製送油管セット ・送油管(ナット付) ・ドレン受け ・ホッパードレンホース		
					・メインリモコン ・オイルフィルタ ・φ8×2.5m銅パイプセット		

11 アフターサービス

アフターサービスについては、製造元である株式会社コロナが行います。

保証について

- この取扱説明書の裏表紙に保証書がついています。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのと、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- 次のような原因による故障および、事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。（詳しくは保証書をお読みください）
■ 変質灯油や不純灯油など、または灯油以外の燃料使用による故障や事故。
■ 誤った使用方法による故障や事故。
■ 一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、車輻、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
■ 凍結による事故および破損。

修理を依頼されるとき

- 「故障・異常の見分け方と処置方法」にしたがってお調べください。直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- ご連絡いただきたい内容は次の通りです。
①品名
②型式の呼び
③お買い上げ日
④故障の状況（できるだけ具体的に）
- 修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または、この取扱説明書の最後のページに記載されている「お客様相談窓口」にお問い合わせください。
- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

■補修用性能部品について

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■故障・修理の際の連絡先

- お買い上げの販売店または、この取扱説明書の最後のページに記載されている「お客様相談窓口」にご連絡ください。

12 据付け

据付け工事は販売店に依頼する

据え付けや移動工事は販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

据付け場所の選定及び標準据付け例

据え付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり販売店または据付業者とよくご相談ください。
また、「標準据付け例」については40・41ページを参照してください。

●据付場所の選定

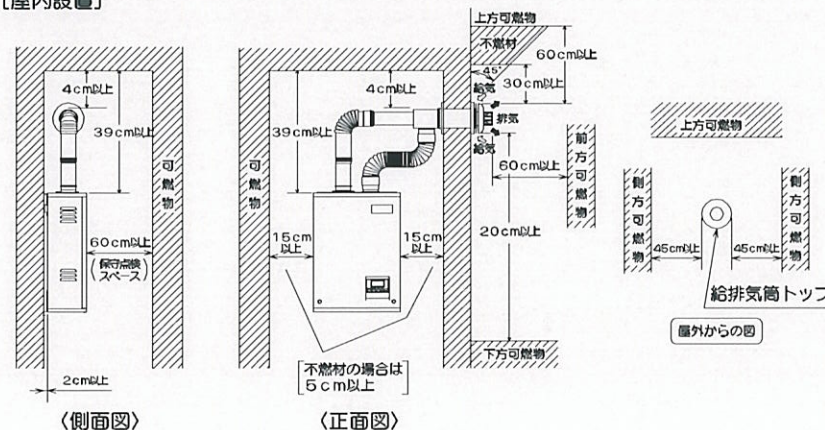
- 機器を据え付ける場所は、水道工事、電気工事などの付帯工事のできる場所を選んでください。また、火災予防上の所定の距離、隣家への防音上の配慮が必要です。
- 積雪の多い地方では、積雪時に給排気筒が雪でふさがれないような取り付け場所を選定してください。また、風がよどむような場所では、排ガスを再度吸込んで不完全燃焼を起こすおそれがあります。（該当機種FDW-AG470FXPFFW、FDW-AG470AXPFFW）
- 適切な位置に電源コンセントがない場合あるいは容量が少ない場合には、電気配線を電力会社の指定工事店に依頼し、容量が15A以上の専用配線を必ず設けてください。

●標準据付け例

■FDW-AG470FXPFFW、FDW-AG470AXPFFW の標準据付け例

- 防火性能認証品ですので、下記寸法で設置できます。

〔屋内設置〕



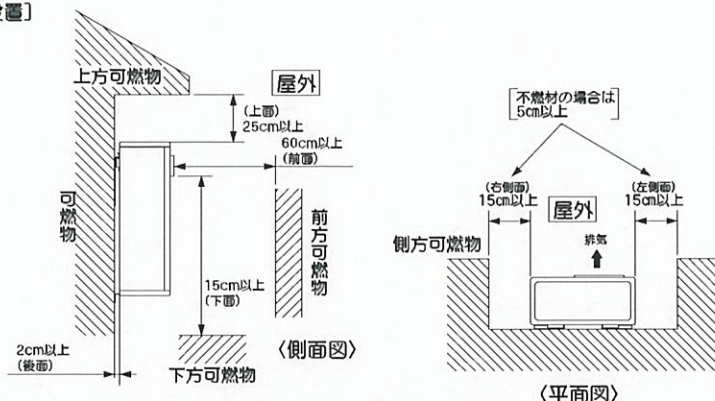
- 機器前方の点検スペースを確保してください。

据付け場所の選定及び標準据付け例

■FDW-AG470FXPMW, FDW-AG470AXPMW の標準据付け例

- 防火性能認証品ですので、下記寸法で設置できます。

[屋外設置]

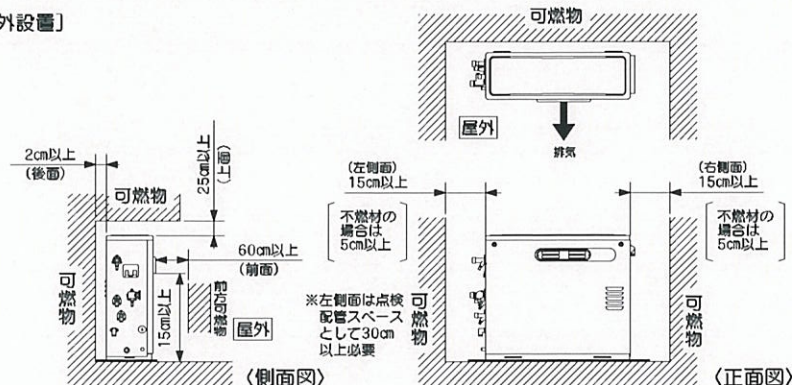


- 機器前方の点検スペースを確保してください。

■FDW-AG470FXPM, FDW-AG470FXPMP の標準据付け例

- 防火性能認証品ですので、下記寸法で設置できます。

[屋外設置]



- 機器前方の点検スペースと左側面の配管スペースを確保してください。

騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう十分配慮して設置場所を選択してください。

据付け後の確認

据え付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

■周囲の材料と本体との距離

- 機器の周囲の壁は金属以外の不燃材料（コンクリート、コンクリートブロック、モルタル、しっくいなど）で仕上げてありますか。
- 火災予防上の所定の距離が十分ありますか。

■給排気筒の壁貫通部および寸法 FDW-AG470FXPFFW FDW-AG470AXPFFW

- 小屋裏、天井裏などにある部分は、金属以外の不燃材料で防火上有効な被覆を行ってください。
可燃性の壁、天井、小屋裏、天井裏などを貫通する部分およびその付近では、給排気筒の接続はしないでください。
- 本体から給排気筒まで延長管が3m以内、曲がり箇所が3箇所以内になっていますか。
ただし、専用の部品を使用することにより7m3曲がり以内まで可能になります。
- 給排気筒トップから周囲の壁までの距離は火災予防上の所定の距離が十分ありますか。

■空気取入口、換気口

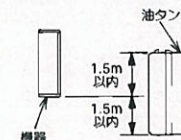
- 機器は密室に設置することなく、空気を取り入れおよび換気は十分行える場所ですか。

■アース

- **⚠注意** 専用のアース（線）を必ず取り付けてください。感電のおそれがあります。
アース（線）は、ガス管や水道管、電話や避雷針のアース（線）には絶対に接続しないでください。

■油タンクと本体の距離

- 屋外に設置する200L以上1,000L未満の油タンクは機器の間に防火上有効な壁などがない場合2m以上離してありますか。
屋内に設置する油タンクは容量にかかわらず2m以上離してください。
- 機器下面より油タンク上面まで1.5m以内、油タンク下面まで1.5m以内になっていますか。



- **⚠注意** ゴム製送油管は屋外で使わないでください。屋外での使用は禁止されています。

■電源コンセントの位置

- 電源コンセントは適切な位置にありますか。

■凍結予防

- 凍結予防を考慮した配管工事がしてありますか。

試運転は販売店または据付業者と一緒に必ず行ってください。

運転準備 (9ページもお読みください。)

- 給油および送油経路の空気抜きをしてありますか。また、油漏れはありませんか。
- 給湯栓を開いて水が出ますか。(熱交換器の中に水が入っていますか。) また、配管に水漏れはありませんか。
- 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。
- 各リモコンの機器への配線に間違いはありませんか。



運転 — 給湯 — (11ページもお読みください。)

■運転開始手順

給湯運転はメインリモコン、浴室リモコンのどちらからでもできます。

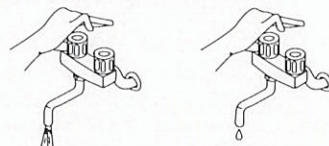
- ① **運転** を押して「入」にします。
- 運転ランプが点灯します。(発信音「ビッ」)
- 予熱を開始し、「予熱」表示が点滅します。
予熱が完了すると「予熱」表示が点滅し「給湯」または「高温」表示が点灯します。
(発信音「ビッ」を3回繰り返します)
- 音声ガイド「給湯できます」



- 運転スイッチを「入」にすると、汲み上げポンプが運転し、油タンクから油を吸い上げます。この時汲み上げポンプに油がくるまでの間、空打ちのため、大きい音が発生することがありますが、すぐにおさまりますので、そのままお待ちください。油タンクから機器本体までに、100秒以内に吸い上がらなかった場合、「給油」表示が点灯することがありますが、その場合、リモコンの運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にしてください。「給油」表示の解除は運転スイッチから3回しか行うことができません。さらに、「給油」表示の解除が必要な場合は、機器本体のプリント基板上にあるリセットスイッチを軽く押すか、または電源プラグを電源コンセントから抜き、約5秒後に差し込んでください。

*「連続運転スイッチ」を「入」にすることは、お避けください。
初期使用時に長時間予熱を行うと、出湯開始後の最初のお湯が「赤く濁る」ことがあります。

- ②給湯栓を開くと自動的に点火し、**△**表示が点灯します。
給湯栓を閉じると自動的に消火し、**△**表示が消灯します。



■初期運転時の異常現象

- 水道配管工事のときのゴミが機器に流れ込み、フローセンサに引っかかるとバーナは運転しません。フローセンサを調べると共に給水口フィルタを掃除してください。

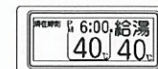
■正常運転の目安

- 給湯栓の開閉により着火、消火が行えること。
- 燃焼させた状態で、リモコンの給湯温度調節の操作で給湯温度が変化すること。
- 異常発煙、異常振動音がないこと。(初め白い煙が出ますが、しばらくすると消えます。)
- 油漏れ、水漏れがないこと。

(運転) — ふろ — (16・17ページもお読みください。)

■運転開始手順

- ① **運転** が「入」で「予熱」表示が消灯し「給湯」または「高温」表示が点灯していることを確認してください。



- ② **自動** を押して「入」にします。
 - 自動ランプが点灯します。(発信音「ビッ」)
 - お湯張りします「表示が3回点滅し、温度表示に戻ります。」
 - 音声ガイド「沸き上げて保温します」



■正常運転の目安

- 自動スイッチを押してから約2分後に浴槽の循環口よりお湯張りを行い、燃焼を開始します。(燃焼表示 **△** 点灯)
- 浴槽に設定湯量をお湯張りして設定温度に沸き上げると、自動的に燃焼が停止し、沸き上がりメロディ音が鳴り、音声ガイドで「お風呂が沸きました」とお知らせしたあと、約4時間保温運転します。

運転停止

- リモコンの運転スイッチを押して「切」にします。

インターホンリモコン (FDW-AG470FXPMPのみ)

(運転スイッチの「入」「切」に関係なく操作できます)

①台所から浴室へお話しするとき

- 1) メインリモコンの通話スイッチを押すと呼出し音が鳴り、「話す」表示になります。
- 2) メインリモコンで話した声が浴室リモコンで聞こえるか確認してください。
- 3) 10秒経過後、通話状態が切替りメインリモコンには「聞く」が表示され、浴室リモコンからの声を聞くことができます。
- 4) 10秒経過後、通話機能を終了します。

②浴室から台所へお話しするとき

- 1) 浴室リモコンの通話スイッチを押すと呼出し音が鳴り、「話す」表示になります。
- 2) 浴室リモコンで話した声がメインリモコンで聞こえるか確認してください。
- 3) 10秒経過後、通話機能を終了します。

お客様ご相談窓口一覧表

修理サービスや製品についてのご相談は機種名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記のご相談窓口にご依頼ください。

ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、下記のお近くの窓口にご相談ください。

名称、所在地、電話番号は、変更する場合がありますのでご了承ください。

●アフターサービスのお問い合わせは下記へどうぞ

コロナサービスセンター

0120-919-302

(修理受付専用ダイヤル)

FAX 0120-919-322

受付時間 午前9時～午後7時(日曜、祝祭日は除く)

携帯電話・PHS等からは
最寄りのサービスセンター
へ直接おかけください。

北海道地区	札幌市白石区平和通18丁目南1-19 〒003-0028 TEL(011)884-0440(代) FAX(011)883-3154	札幌市東区南1条2丁目2-5 〒078-8281 TEL(0166)37-2390(代) FAX(0166)37-2338
	札幌市東区南1条2丁目2-5 〒090-0056 TEL(0157)36-9009(代) FAX(0157)36-5559	札幌市東区南1条2丁目2-5 〒095-0038 TEL(0154)24-4191(代) FAX(0154)24-0451
北東北地区	仙台市青葉区中央4丁目4-18 〒981-0033 TEL(022)235-3181(代) FAX(022)236-8810	仙台市青葉区中央4丁目4-18 〒981-0033 TEL(022)235-3181(代) FAX(022)236-8810
	仙台市青葉区中央4丁目4-18 〒981-0033 TEL(022)235-3181(代) FAX(022)236-8810	仙台市青葉区中央4丁目4-18 〒981-0033 TEL(022)235-3181(代) FAX(022)236-8810
関東地区	さいたま市中央区東大宮1-674-2 〒331-0812 TEL(048)651-1722(代) FAX(048)651-6370	さいたま市中央区東大宮1-674-2 〒331-0812 TEL(048)651-1722(代) FAX(048)651-6370
	さいたま市中央区東大宮1-674-2 〒331-0812 TEL(048)651-1722(代) FAX(048)651-6370	さいたま市中央区東大宮1-674-2 〒331-0812 TEL(048)651-1722(代) FAX(048)651-6370
信越地区	新潟県新潟市東区南1条2丁目2-5 〒950-0854 TEL(025)632-2126(代) FAX(025)632-8519	新潟県新潟市東区南1条2丁目2-5 〒950-0854 TEL(025)632-2126(代) FAX(025)632-8519
	新潟県新潟市東区南1条2丁目2-5 〒950-0854 TEL(025)632-2126(代) FAX(025)632-8519	新潟県新潟市東区南1条2丁目2-5 〒950-0854 TEL(025)632-2126(代) FAX(025)632-8519
北陸地区	金沢市東区南1条2丁目2-5 〒920-0027 TEL(076)260-0567(代) FAX(076)260-0775	金沢市東区南1条2丁目2-5 〒920-0027 TEL(076)260-0567(代) FAX(076)260-0775
	金沢市東区南1条2丁目2-5 〒920-0027 TEL(076)260-0567(代) FAX(076)260-0775	金沢市東区南1条2丁目2-5 〒920-0027 TEL(076)260-0567(代) FAX(076)260-0775
東海地区	名古屋市中区南1条2丁目2-5 〒460-0004 TEL(052)746-6000(代) FAX(052)746-6551	名古屋市中区南1条2丁目2-5 〒460-0004 TEL(052)746-6000(代) FAX(052)746-6551
	名古屋市中区南1条2丁目2-5 〒460-0004 TEL(052)746-6000(代) FAX(052)746-6551	名古屋市中区南1条2丁目2-5 〒460-0004 TEL(052)746-6000(代) FAX(052)746-6551
近畿・四国地区	大阪市東区南1条2丁目2-5 〒554-0044 TEL(06)6380-2111(代) FAX(06)6380-7262	大阪市東区南1条2丁目2-5 〒554-0044 TEL(06)6380-2111(代) FAX(06)6380-7262
	大阪市東区南1条2丁目2-5 〒554-0044 TEL(06)6380-2111(代) FAX(06)6380-7262	大阪市東区南1条2丁目2-5 〒554-0044 TEL(06)6380-2111(代) FAX(06)6380-7262
中国地区	広島市安佐南区南1条2丁目2-5 〒731-0138 TEL(082)871-3310(代) FAX(082)871-3306	広島市安佐南区南1条2丁目2-5 〒731-0138 TEL(082)871-3310(代) FAX(082)871-3306
	広島市安佐南区南1条2丁目2-5 〒731-0138 TEL(082)871-3310(代) FAX(082)871-3306	広島市安佐南区南1条2丁目2-5 〒731-0138 TEL(082)871-3310(代) FAX(082)871-3306
九州地区	福岡市東区南1条2丁目2-5 〒812-0007 TEL(092)474-5771(代) FAX(092)474-5775	福岡市東区南1条2丁目2-5 〒812-0007 TEL(092)474-5771(代) FAX(092)474-5775
	福岡市東区南1条2丁目2-5 〒812-0007 TEL(092)474-5771(代) FAX(092)474-5775	福岡市東区南1条2丁目2-5 〒812-0007 TEL(092)474-5771(代) FAX(092)474-5775
沖縄地区	那覇市東区南1条2丁目2-5 〒901-2227 TEL(098)897-5677(代) FAX(098)897-5679	那覇市東区南1条2丁目2-5 〒901-2227 TEL(098)897-5677(代) FAX(098)897-5679
	那覇市東区南1条2丁目2-5 〒901-2227 TEL(098)897-5677(代) FAX(098)897-5679	那覇市東区南1条2丁目2-5 〒901-2227 TEL(098)897-5677(代) FAX(098)897-5679

08032102

株式会社 **コロナ**

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7

TEL(0256)382-2111(代表)

ホームページ <http://www.corona.co.jp/>